The essentials of imaging

bizhub 423/363/283/223

ユーザーズガイド　拡張機能編

もくじ

10 My パネル機能

11 My アドレス機能

12 索引

1 はじめに

1 はじめに

1.1 ご挨拶

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドでは、本機にオプションのライセンスキットを登録することで利用できる機能と、アプリケーションと連携させることで利用できる機能の概要と使い方について記載しています。各機能を効果的にご使用いただくために、このユーザーズガイドをお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の［安全にお使いいただくために］をお読みください。

商標およびライセンスについては、別冊の［商標／ライセンスについて］をごらんください。

1.1.1 マニュアル体系について

印刷物のマニュアル	概要
［すぐに使える操作ガイド］	すぐに本製品をご利用いただけるよう使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。
［安全にお使いいただくために］	本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。 製品のご使用前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
［ユーザーズガイド コピー機能編］	コピーの機能や本機の設定について記載しています。 · 原稿、コピー用紙の仕様 · コピー機能 · 本機のメンテナンス · トラブルの対処方法
［ユーザーズガイド 拡大表示機能編］	拡大表示機能の操作について記載しています。 · コピー機能 · スキャナー機能 · G3 ファクス機能 · ネットワークファクス機能
［ユーザーズガイド プリンター機能編］	プリンター機能について記載しています。 · プリンター機能 · プリンタードライバーの設定
［ユーザーズガイド ボックス機能編］	ハードディスクを利用したボックス機能について記載しています。 · ボックスへのデータ保存 · ボックスからのデータの取出し · ボックスからのデータの印刷、転送
［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］	スキャンしたデータの送信方法を記載しています。 · E-mail 送信、FTP 送信、SMB 送信、ボックス保存、WebDAV 送信、Web サービス · G3 ファクス · IP アドレスファクス、インターネットファクス
［ユーザーズガイド ファクスドライバー機能編］	コンピューターから直接ファクス送信を行うファクスドライバー機能について記載しています。 · PC-FAX
［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］	ネットワークを利用した各機能の設定方法を記載しています。 · ネットワークの設定 · PageScope Web Connection を使用した設定

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
［ユーザーズガイド 拡張機能編］	オプションのライセンスキットでご利用いただける機能、およびアプリケーションと連携することでご利用いただける機能について記載しています。 ・ Web ブラウザー機能 ・ イメージパネル ・ PDF 処理機能 ・ 音声ガイド機能 ・ サーチャブル PDF ・ My パネル、My アドレス機能
［商標 / ライセンスについて］	商標およびライセンスについて記載しています。 ・ 商標、著作権について

1.1.2 ユーザーズガイドについて

このユーザーズガイドは、本機を初めてご利用になるお客様から本機を管理する管理者までを対象としています。

本機の基本的な操作方法、より便利にお使いいただくための機能、簡単なトラブルの対処方法、その他本機のさまざまな設定方法について説明しております。

なお、トラブルの対処には、製品についての基本的な技術知識が必要です。トラブルの対処は、本書で説明している範囲内で行ってください。

お困りの際には、サービスエンジニアにご連絡ください。

1.2 使用条件

i-Option LK-101 v2 または i-Option LK-103 v2 を有効化すると、複合機の**操作パネル**からインターネットへのアクセスができます。

使用者は、複合機の Web ブラウザーを使用してアクセス、ダウンロード、アップロードした内容、およびその他の通信した内容について責任を負います。使用者は、会社の規則および国の法律に従うものとします。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社およびそのグループ会社は、使用者のインターネットのご利用について、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

1.3 ページの見かた

1.3.1 本文中の記号について

本書では、様々な情報を記号で記載しています。

ここでは、製品を正しく安全にお使いいただくために、本書で使用している記号について説明します。

安全にお使いいただくために

⚠ **警告**

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意**

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

重要
本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。
物的損害を避けるために指示に従ってください。

手順文について

✔ このチェック記号は、手順の前提となる条件や機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。

1 このスタイルの 1 は、最初の手順を表します。

2 このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。

➔ この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

手順の動作を
イラストで
表しています。

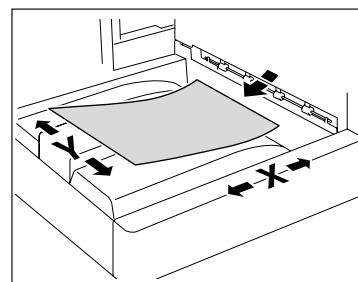
➔ この記号は、目的のメニューにアクセスする**操作パネル**の遷移を表します。

目的の画面を表示しています。

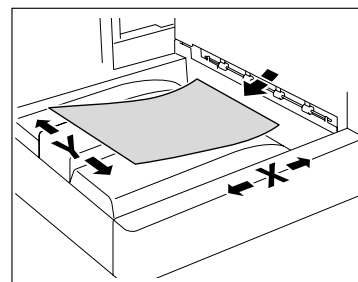
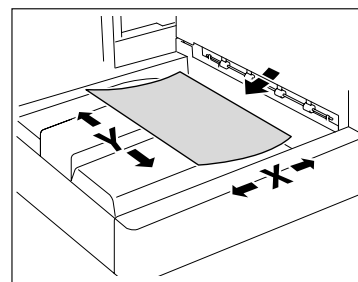
参照
参照先を表しています。

必要に応じてごらんください。

キー記号について

[ ]
タッチパネル上のキー名称、コンピューター画面上のキー名称、ユーザーズガイド名称などを表します。

文中の太字
操作パネル上のキー名称、部品名称、製品名、オプション名などを表します。

1.3.2　原稿と用紙の表示について

原稿と用紙の大きさ

本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。
原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。

原稿と用紙の表示

幅（Y）よりも長さ（X）のほうが大きいものを と表示します。

幅（Y）よりも長さ（X）のほうが小さいものを と表示します。

2 概要

2 概要

2.1 各機能の概要

各機能の概要を説明します。

参考

- 拡張機能を利用するには、オプションの**アップグレードキット UK-203** が必要です。
- 複合機にライセンスキットを登録して機能を有効化する方法について詳しくは、[すぐに使える操作ガイド] をごらんください。
- アプリケーションと連携させる機能は、アプリケーション側で機能の有効化を行います。機能を有効化する方法について詳しくは、アプリケーションのマニュアルをごらんください。

2.1.1 機能対応表

ライセンスキットおよびアプリケーションと各機能の対応表です。

	Web ブラウザー	イメージパネル	PDF 処理	音声ガイド	サーチャブル PDF
i-Option LK-101 v2	○	○	−	−	−
i-Option LK-102	−	−	○	−	−
i-Option LK-103 v2	○	○	○	−	−
i-Option LK-104	−	−	−	○	−
i-Option LK-105	−	−	−	−	○

	My パネル	My アドレス
PageScope My Panel Manager	○	○

2.1.2 機能拡張後のキーの配置について

Web ブラウザー機能、イメージパネル機能、My パネル機能を追加すると、**操作パネル**の**ボックス**、**ファクス / スキャン**、**コピー**の各キーの使い方が変わります。

- **ボックス**が**アプリケーションメニュー**に、**ファクス / スキャン**と**コピー**がアプリケーションキーになります。
- **アプリケーションメニュー**を押すと、[アプリケーションメニュー] が表示され、追加した機能への切換えができます。
- ご使用の状況に合わせて、アプリケーションキーに割り付ける機能を変更できます。

詳しくは、3-2 ページをごらんください。

2.1.3 機能拡張で使用できる機能

各機能の概要を説明します。詳しい説明については、参照先をごらんください。

機能	概要	参照先
Web ブラウザー	この機能は、複合機に i-Option LK-101 v2 または i-Option LK-103 v2 を登録することで使用できます。 ネットワークに接続された複合機の**操作パネル**からインターネットやイントラネット（企業内ネットワーク）上のコンテンツにアクセスし、表示や印刷ができます。 また、Web ブラウザーを使用して、ネットワークに接続された複合機の PageScope Web Connection を操作し、ボックス内の文書を利用できます。	p. 4-2 p. 5-2
イメージパネル	この機能は、複合機に i-Option LK-101 v2 または i-Option LK-103 v2 を登録することで使用できます。 イメージパネルとは、ユーザーにとってより直感的でわかりやすい新しいパネルインターフェースです。文書の読込みから送信まで、全体の操作の流れをイメージしやすくなっています。 また、PageScope Web Connection から、短縮宛先に写真データを登録できます。登録した写真は、イメージパネルの宛先一覧に反映されます。	p. 6-2
音声ガイド	この機能は、複合機に i-Option LK-104 を登録することで使用できます。 目の不自由な方の操作の補助や誤操作の防止のために、音声によるガイドを利用できます。 主に拡大表示、ユニバーサル設定、ガイドの各画面で利用できます。	p. 7-2
PDF 処理	この機能は、複合機に i-Option LK-102 または i-Option LK-103 v2 を登録することで使用できます。 スキャン機能やボックス機能を使用して PDF 形式で文書を配信するときに、パスワードやデジタル ID による PDF の暗号化、電子署名の追加、プロパティの設定ができます。	p. 8-2
サーチャブル PDF	この機能は、複合機に i-Option LK-105 を登録することで使用できます。 OCR 処理により文字として認識した部分に透明なテキストデータを貼付け、テキスト検索可能な PDF を作成できます。 スキャン機能やボックス機能を使用して、原稿を PDF 形式で保存したり送信したりするときに、サーチャブル PDF を作成できます。	p. 9-2
My パネル	この機能は、PageScope My Panel Manager と連携させることで使用できます。 ユーザーが用途に応じてカスタマイズした**操作パネル**の環境（My パネル）をサーバーで一元管理し、ユーザーが選択した複合機で My パネルを取得して使用できます。	p. 10-2
My アドレス	この機能は、PageScope My Panel Manager と連携させることで使用できます。 サーバーで個人専用のアドレス帳（My アドレス帳）を一元管理し、ユーザーが選択した複合機で My アドレス帳を取得して使用できます。	p. 11-2

参考

- 複合機に課金管理装置が装着されている場合は、イメージパネルを使用できません。
- 複合機に PageACSES が装着されている場合は、i-Option LK-101 v2 および i-Option LK-103 v2 を登録できません。

3 アプリケーションキーの割り付け

3 アプリケーションキーの割り付け

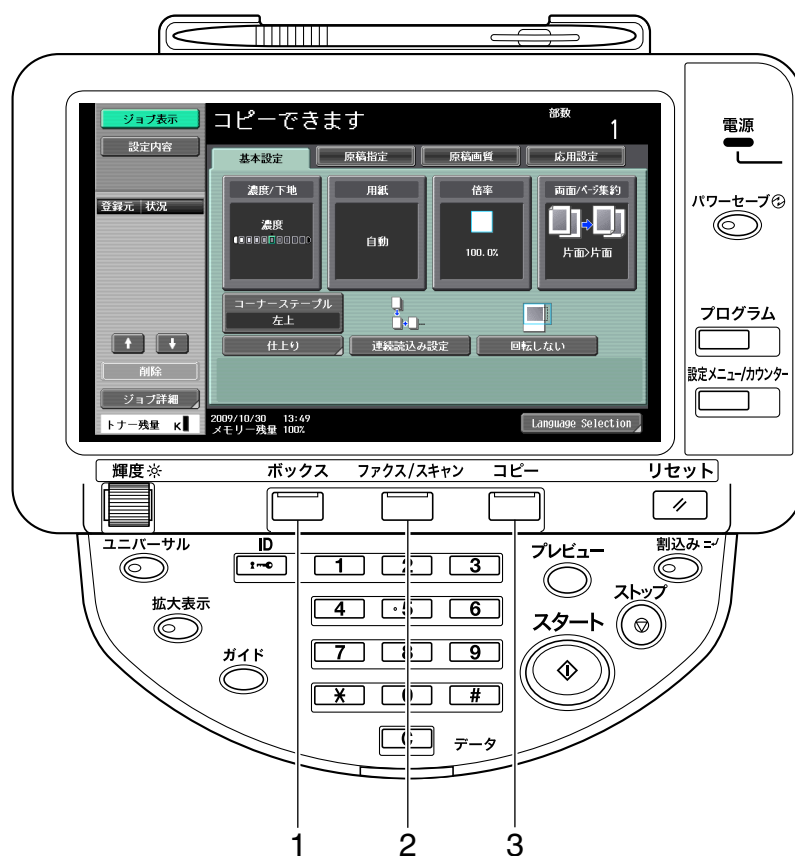
3.1 概要

操作パネルのキーの配置と［アプリケーションメニュー］について説明します。

3.1.1 機能拡張後のキーの配置について

Web ブラウザー機能、イメージパネル機能、My パネル機能を追加すると、**ボックス**が**アプリケーションメニュー**に、**ファクス / スキャン**と**コピー**がアプリケーションキーになります。

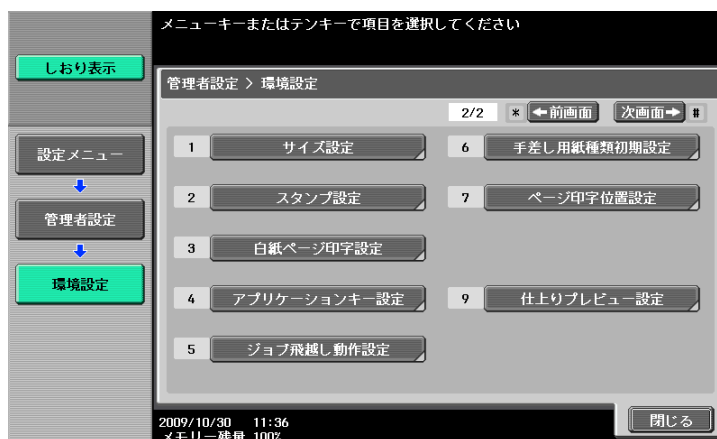
参考

- Web ブラウザーおよびイメージパネルは、i-Option LK-101 v2 または i-Option LK-103 v2 を登録することで利用できる機能です。
- My パネルは、PageScope My Panel Manager と連携させることで利用できる機能です。

No.	名称	説明
1	アプリケーションメニュー	［アプリケーションメニュー］が表示されます。このキーには、他の機能を割り付けることはできません。 機能を追加した場合は、**アプリケーションメニュー**のシール（**アップグレードキット UK-203** に同梱）を貼り付けて、**操作パネル**のキー名を変更してください。 詳しくは、3-3 ページをごらんください。
2	アプリケーションキー 1	初期設定では、ファクス / スキャン機能が割り付けられています。管理者によって他の機能を割り付けることができます。 機能の割り付けを変更した場合は、割り付けた機能のシール（**アップグレードキット UK-203** に同梱）を貼り付けて、**操作パネル**のキー名を変更してください。 機能の割り付け方法について詳しくは、3-4 ページをごらんください。

No.	名称	説明
3	アプリケーションキー 2	初期設定では、コピー機能が割り付けられています。管理者によって他の機能を割り付けることができます。 機能の割り付けを変更した場合は、割り付けた機能のシール（**アップグレードキット UK-203** に同梱）を貼り付けて、**操作パネル**のキー名を変更してください。 機能の割り付け方法について詳しくは、3-4 ページをごらんください。

3.1.2 ［アプリケーションメニュー］

アプリケーションメニューを押すと、［アプリケーションメニュー］が表示されます。

アプリケーションキー 1、2 に割り付けられていない機能を利用したい場合は、［アプリケーションメニュー］から各機能へ表示を切換えることができます。

3.2 アプリケーションキー 1、2 をカスタマイズする

ご使用の状況に合わせて、アプリケーションキー 1、2 に割り付ける機能を変更できます。

3.2.1 ［アプリケーションキー設定］

アプリケーションキー 1、2 への機能の割り付けは、［アプリケーションキー設定］で行います。

1 **設定メニュー / カウンター**を押し、［設定メニュー］を表示します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

4 ［環境設定］を押します。

5 ［環境設定］（2/2）で［アプリケーションキー設定］を押します。

6 機能を割り付けるアプリケーションキー（［キー 1］または［キー 2］）を選択します。

7　割り付ける機能を選択します。

8　［OK］を押します。

アプリケーションキーに機能が割り付けられます。

4 Web ブラウザー機能

4　Web ブラウザー機能

4.1　概要

Web ブラウザー機能とは、ネットワークに接続された複合機の**操作パネル**からインターネットやイントラネット上のコンテンツにアクセスし、印刷、表示、保存を行う機能です。

参考

- この機能は、i-Option LK-101 v2 または i-Option LK-103 v2 が登録されている複合機で使用できます。

4.1.1　Web ブラウザー機能でできること

Web ブラウザー機能では、以下のことができます。

- インターネットやイントラネット上の Web コンテンツを表示、印刷できます。
- インターネットやイントラネット上の文書ファイルを印刷、表示、保存できます。
- スキャンして読込んだ文書ファイルやボックス内の文書ファイルを、インターネットやイントラネット上のサーバーにアップロードできます。
- PageScope Web Connection を利用して、ネットワーク上の複合機のボックス内の文書を共有できます。
- My パネル機能を使用できる場合は、Web ブラウザーと My パネルを連携させることで、自分専用の Web ブラウザーの使用環境を持つことができます。

参照

操作パネルから PageScope Web Connection を利用する方法について詳しくは、5-2 ページをごらんください。

My パネルについて詳しくは、10-2 ページをごらんください。

4.1.2 仕様

Web ブラウザーの仕様

複合機に搭載されている Web ブラウザーの主な仕様は、以下のとおりです。

項目	仕様
ブラウザーエンジン	NetFront
対応プロトコル	HTTP（HTTP/0.9、1.0、1.1）、HTTPS、TCP/IP
対応マークアップ言語	HTML 4.01、XHTML 1.1/Basic
対応スタイルシート	CSS1、2 の一部
対応スクリプト言語	JavaScript 1.5 の一部、ECMAScript 3rd Edition、Ajax（JavaScript のサポート内に限る）
対応 DOM	Level 1、2 の一部
対応形式	JPEG、BMP、PNG、GIF、アニメーション GIF、PDF、Flash 7.0 まで
対応 SSL/TLS バージョン	SSL 2.0、SSL 3.0、TLS 1.0
対応文字コード	日本語（Shift_JIS）、日本語（ISO-2022-JP）、日本語（EUC-JP）、簡体字中国語（GB2312）、繁体字中国語（Big5）、西ヨーロッパ言語（ISO-8859-1）、Unicode（UTF-8）
表示モード	通常、Just-Fit Rendering、Smart-Fit Rendering
PDF 閲覧ソフトウェア	Adobe® Reader® LE
Flash 再生ソフトウェア	Adobe® Flash® Player 7

Flash Player の制限事項

Web ブラウザーに搭載されている Flash Player には、以下の制限があります。

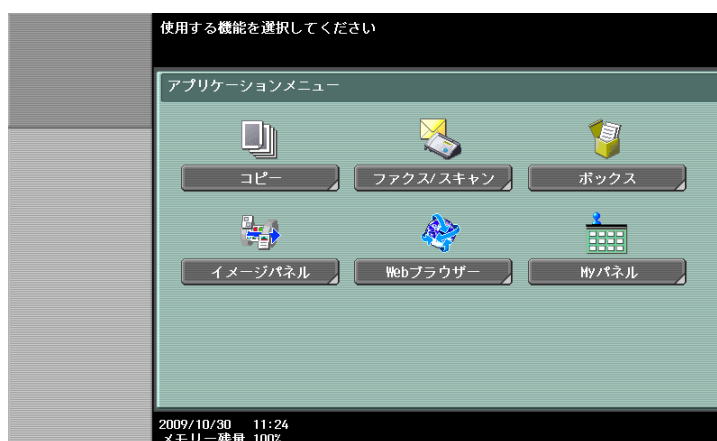
- キー操作によりイベントを発生させる機能には対応していません。
- クリップボードから文字列などのデータを貼り付けたり、取得したりする機能には対応していません。
- コンテキストメニューには対応していません。
- Flash の印刷機能には対応していません。
- Flash から JavaScript を実行したり、JavaScript から Flash を操作したりする機能には対応していません。
- ウィンドウを持たない画面（ポップアップ）には対応していません。
- Flash のブックマーク機能には対応していません。
- Flash Media Server を利用して、データをリアルタイム通信する機能には対応していません。
- XMLSocket で通信する機能には対応していません。

4.2　Web ブラウザーを表示する

［アプリケーションメニュー］で［Web ブラウザー］を押すと、ホームに設定されているページが表示されます。

参考

- My パネルと連携させて Web ブラウザーを使用する場合は、ログインしているユーザーが［Web ブラウザー］を押すと、ユーザーの Web ブラウザーに関する設定や情報が、サーバーから複合機にダウンロードされます。ユーザーが自分専用のホームページを設定している場合は、設定しているホームページが表示されます。
- Web ブラウザーを起動したときに、ホームページを表示させるか、前回の最後に表示していたページを表示させるかを設定できます。詳しくは、4-18 ページをごらんください。

参照

［アプリケーションメニュー］について詳しくは、3-3 ページをごらんください。

My パネルについて詳しくは、10-2 ページをごらんください。

4.3　Web ブラウザーの使用に関する設定をする

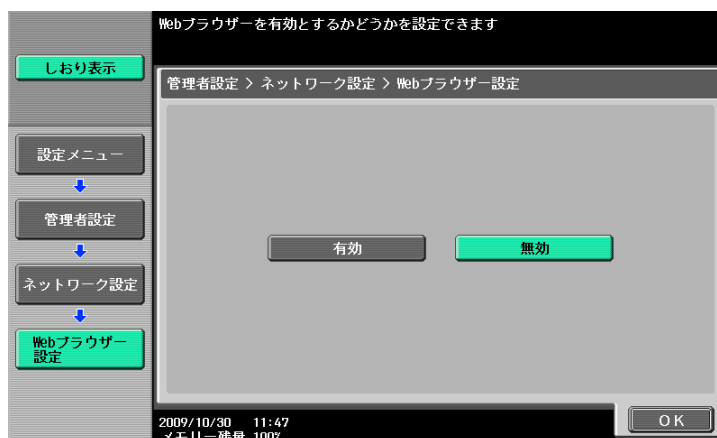
複合機で Web ブラウザーを使用させたくない場合などは、ライセンスキットを無効化することなく Web ブラウザーの使用を禁止できます。また、ユーザーごとに Web ブラウザーの使用を禁止することもできます。

4.3.1　複合機で Web ブラウザーの使用を禁止する

Web ブラウザーを使用させたくない場合などは、ライセンスキットを無効化することなく Web ブラウザーの使用を禁止できます。

［Web ブラウザー設定］

1. **設定メニュー / カウンター**を押し、［設定メニュー］を表示します。
2. ［管理者設定］を押します。
3. 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。
4. ［ネットワーク設定］を押します。
5. ［ネットワーク設定］（2/2）で［Web ブラウザー設定］を押します。

6. ［無効］を選択し、［OK］を押します。

参考

- ［Web ブラウザー設定］を［無効］に設定すると、［アプリケーションメニュー］で［Web ブラウザー］が非表示になります。

4.3.2 ユーザーごとに Web ブラウザーの使用を禁止する

複合機でユーザーの管理を行っている場合は、ユーザーごとに Web ブラウザーの使用を禁止できます。

［機能制限］

1 **設定メニュー / カウンター**を押し、［設定メニュー］を表示します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

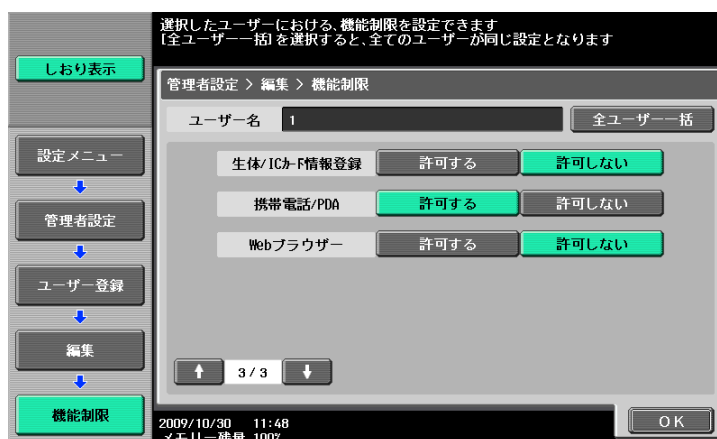
4 ［ユーザー認証 / 部門管理］を押します。

5 ［ユーザー認証設定］で［ユーザー登録］を押します。

6 Web ブラウザーの使用を禁止したいユーザーを選択し、［編集］を押します。

➔ パブリックユーザーによる Web ブラウザーの使用を禁止したい場合は、［↑］を押して、［Public］を選択します。

7 ［機能制限］を押します。

8 ［機能制限］（3/3）で、［Web ブラウザー］を［許可しない］に設定し、［OK］を押します。

参考

- ［管理者設定］ ▸▸［ネットワーク設定］ ▸▸［Web ブラウザー設定］を［無効］に設定している場合は、この設定はできません。
- パブリックユーザーの機能制限は、［管理者設定］ ▸▸［ユーザー認証 / 部門管理］ ▸▸［認証方式］ ▸▸［パブリックユーザー］で、パブリックユーザーを許可している場合に設定できます。
- 外部サーバーでユーザー管理を行っている場合は、［管理者設定］ ▸▸［ユーザー認証 / 部門管理］ ▸▸［ユーザー認証設定］ ▸▸［管理設定］ ▸▸［初期機能制限設定］ ▸▸［Web ブラウザー］で、外部サーバー認証により初めて複合機を使用するユーザーの機能制限の初期値を設定できます。［初期機能制限設定］について詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

4.3.3　ローカルコンテンツの利用を禁止する

Web ブラウザーと連携するアプリケーションを利用して Web ブラウザーを使用する場合は、複合機の HDD に保存されているファイル（事前にインストールしたコンテンツ、画像ファイル、ヘルプファイルなど）を Web ブラウザーから利用できます。

管理者は、必要に応じて、複合機の HDD に保存されているファイルの Web ブラウザーからの利用を禁止できます。

参考

- Web ブラウザーと連携するアプリケーションについて詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

［Web ブラウザーコンテンツアクセス］

1. **設定メニュー / カウンター**を押し、［設定メニュー］を表示します。
2. ［管理者設定］を押します。
3. 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。
4. ［セキュリティー設定］を押します。
5. ［セキュリティー詳細］を押します。
6. ［セキュリティー詳細］（4/4）で、［Web ブラウザーコンテンツアクセス］を［禁止］に設定し、［OK］を押します。

4.4　基本操作

4.4.1　画面構成

Web ブラウザーの画面は、以下のように構成されています。

No.	名称	説明
1	ツールバー	Web ブラウザーの操作や設定を行います。Web ブラウザーの画面に常に表示されています。 詳しくは、4-12 ページをごらんください。
2	スクロールバー	表示コンテンツが画面の縦方向に入らないときは、画面の右側にスクロールバーが表示されます。 表示コンテンツが画面の横方向に入らないときは、画面の下側にスクロールバーが表示されます。
3	ウィンドウ	複数のウィンドウを表示しているときに、画面下側のタブでウィンドウを切換えることができます。 アクティブタブの［×］を押すと、ウィンドウを閉じることができます。
4	アイコン	コンテンツの読込み中に接続中アイコンが表示されます。 複合機にオプションのローカル接続キットを装着している場合は、スピーカーアイコンが表示されます。

参考

- 複合機にオプションのローカル接続キットが装着されている場合は、音声付きの Web ページや Flash の音声を、ローカル接続キットのスピーカーから出力できます。スピーカーの音量の調整は、スピーカーアイコンからできます。詳しくは、4-11 ページをごらんください。

4.4.2　操作方法

Web ブラウザーの操作は、主に**タッチパネル**で行います。一部の操作は、**操作パネル**の**テンキー**からでもできます。

参考

- **タッチパネル**を操作するとき、**スタイラスペン**を使用すればより快適に操作できます。

タッチパネルによる操作

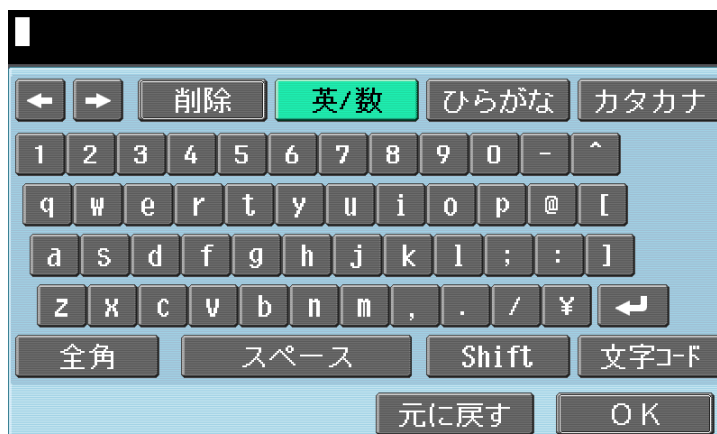
Web ブラウザーの操作は、主に**タッチパネル**で行います。

- 項目の選択を行う場合は、選択したい項目を押します。
- コンテンツ内にリンクが貼られている場合は、リンクを押すことでリンク先へジャンプします。
- 文字入力が必要な場合は、ダイアログやコンテンツ内の入力フォームを押すと、キーボード画面が表示されます。文字の入力はキーボード画面で行います。
- 画面をスクロールしたい場合は、スクロールバーの［↑］［↓］［←］［→］を押します。

テンキーによる操作

数字を入力するときや、リストに表示された項目を選択するとき、**操作パネル**の**テンキー**で該当のキーを押すことでも入力および選択できます。

4.4.3 文字入力のしかた

文字入力が必要な場合は、ダイアログやコンテンツ内の入力フォームを押すと、キーボード画面が表示されます。

英数字を入力する

英数字を入力する場合は、［英 / 数］を押します。

- 大文字、記号を入力する場合は、［Shift］を押します。
- 全角の英数字を入力する場合は、［全角］を押します。
- 半角数字は**テンキー**からでも入力できます。

ひらがなを入力する

ひらがなを入力する場合は、［ひらがな］を押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、［他かな］を押します。
- ［無変換］を押すと、文字を確定します。

カタカナを入力する

カタカナを入力する場合は、［カタカナ］を押します。

- 濁音（「ガギグゲゴ」など）や半濁音（「パピプペポ」）、拗音（「キャキュキョ」など）を入力する場合は、［他かな］を押します。
- 半角のカタカナを入力する場合は、［半角］を押します。

漢字を入力する

漢字を入力する場合は、ひらがなを入力して［変換］を押します。

表示された候補の中から入力したい漢字のキーを押します。候補が 10 個以上ある場合は、［↑］［↓］を押して画面を切換えて変換したい漢字を選択します。

文字コード（Shift-JIS コード）で入力する

16 進数（1 ～ 0、A ～ F の組合わせ）の文字コードで、文字や記号を入力します。

文字コードで入力する場合は、［文字コード］を押します。文字コードにしたがって、文字ボックスに文字が入力されます。

参考

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、**操作パネル**で C（クリア）を押します。
- ［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- 一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。
- 複数行の入力ができる場合は、改行キーが表示されます。

4.4.4　画面表示モード

Web ブラウザー画面の表示モードには、以下の 3 種類があります。

［通常］

通常の Web ブラウザーと同じ表示モードで、コンテンツが画面サイズに関係なく表示されます。スクロールバーで上下左右にスクロールして閲覧します。

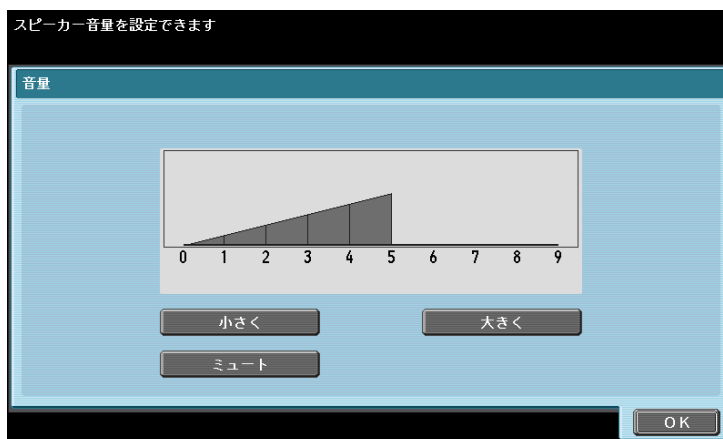
（初期設定では、［通常］に設定されています。）

［Just-Fit Rendering］

コンテンツのレイアウトを変更しないで、画面の横幅に合わせて縮小して表示されます。スクロールバーで上下にスクロールして閲覧します。

［Smart-Fit Rendering］

画面の横幅に合わせて、テーブルを分割して縦に並べて表示されます。スクロールバーで上下にスクロールして閲覧します。表示するページによって、レイアウトが変わることがあります。

参照

表示モードの変更方法について詳しくは、4-17 ページをごらんください。

4.4.5　スピーカーの音量設定

複合機にオプションのローカル接続キットが装着されている場合は、音声付きの Web ページや Flash の音声を、ローカル接続キットのスピーカーから出力できます。

複合機でスピーカーを利用できる場合は、Web ブラウザー画面の左下にスピーカーアイコンが表示されます。スピーカーアイコンを押すと、音量画面が表示され、スピーカー音量の調整ができます。

- ［大きく］または**操作パネル**の **#** を押すと、音量が 1 段階大きくなります。
- ［小さく］または**操作パネル**の ***** を押すと、音量が 1 段階小さくなります。
- ［ミュート］を押すと、無音になります。また、スピーカーアイコンがスピーカーミュートアイコンに変わります。

4.5　ツールバー

Web ブラウザー画面の上部のツールバーで、様々な操作や設定ができます。

4.5.1　ツールバーの内容

ツールバーの各ボタンの内容は、以下のとおりです。

アイコン	名称	説明
	戻る	前のページに戻ります。
	進む	次のページに進みます。
	再読込み／中止	表示しているページを再読込みして、内容を更新します。 ページの読込み中に押すと、読込みを中止します。
	ホーム	ホームに登録したページを表示します。 初期設定は、「http://www.konicaminolta.com/」に登録されています。 ホームページの変更方法について詳しくは、4-16 ページをごらんください。
表示	［ブックマーク］-［表示］	登録したブックマークの一覧を表示します。 詳しくは、4-13 ページをごらんください。
追加	［ブックマーク］-［追加］	表示しているページの URL をブックマークに追加します。ブックマークに追加するには、管理者権限が必要です。 詳しくは、4-13 ページをごらんください。
URL入力	［URL 入力］	URL の入力画面に移動します。 詳しくは、4-14 ページをごらんください。
履歴	［履歴］	これまでに表示したページの一覧を表示します。 詳しくは、4-14 ページをごらんください。
印刷	［印刷］	表示しているコンテンツを印刷します。 詳しくは、4-15 ページをごらんください。
メニュー	［メニュー］	Web ブラウザーの設定を行います。メニューには、ユーザー用のメニューと管理者用のメニューがあります。 詳しくは、4-15 ページをごらんください。

4.5.2 ［ブックマーク］-［表示］

［表示］を押すと、登録したブックマークの一覧がサムネイル表示されます。ブックマークを選択すると、該当の URL へアクセスします。

参考

- My パネルと連携させて Web ブラウザーを使用しているユーザーの場合は、サーバーで管理されているユーザーのブックマークの一覧が表示されます。

ブックマークの一覧

項目	説明
［リスト表示］／［サムネイル表示］	ブックマークの一覧をリスト表示にするか、サムネイル表示にするか切換えます。
［アドレス表示］／［タイトル表示］	ブックマークをアドレスで表示するか、タイトルで表示するか切換えます。
［すべて削除］	登録されているブックマークを全て削除します。 ブックマークを削除するには、管理者権限が必要です。
［閉じる］	ブックマークの一覧を閉じます。

を押すと、その項目に対して利用できる操作の一覧が表示され、選択した操作を行うことができます。ここでは、以下の操作ができます。

項目	説明
［新しいウィンドウで開く］	選択しているブックマークを新しいウィンドウで開きます。
［編集］	選択しているブックマークのタイトルとアドレスを編集します。 ブックマークを編集するには、管理者権限が必要です。
［上へ移動］	選択しているブックマークの上へ移動します。 ブックマークの一覧をリストで表示している場合に使用します。
［下へ移動］	選択しているブックマークの下へ移動します。 ブックマークの一覧をリストで表示している場合に使用します。
［削除］	選択しているブックマークを削除します。 ブックマークを削除するには、管理者権限が必要です。
［閉じる］	この画面を閉じます。

4.5.3 ［ブックマーク］-［追加］

（ブックマークに追加するには、管理者権限が必要です。）

［追加］を押すと、管理者パスワードの入力を要求されます。管理者パスワードを入力して［OK］を押すと、登録画面が表示されます。内容を確認し［OK］を押すと、表示しているページの URL がブックマークに追加されます。複合機では 100 件までブックマークを登録できます。

- ブックマークに追加するページのサムネイル画像を登録したい場合は、登録画面で［サムネイルを登録］にチェックを入れます。
- タイトルは、あらかじめコンテンツに付いているタイトルで登録されます。タイトルを変更したい場合は、登録画面でタイトルの入力フォームを押し、タイトルを変更してください。

参考

- My パネルと連携させて Web ブラウザーを使用しているユーザーの場合は、管理者権限は不要です。My パネルでは、1 ユーザーあたり 20 件までブックマークを登録できます。

4.5.4 ［URL 入力］

［URL 入力］を押すと、アドレスの入力画面が表示されます。

入力フォームを押すと、キーボード画面が表示されます。表示したいページの URL を入力して、［OK］または［新しいウィンドウで開く］を押します。

［入力履歴］を押すと、入力履歴の一覧が表示され、過去の入力を参照できます。複合機では 100 件まで入力履歴を保持できます。

参考

- アドレス入力画面を表示すると、現在表示中のページの URL が入力されています。入力されている URL は、キーボード画面を表示し、［削除］を押すことで削除できます。また、**操作パネル**の **C**（クリア）を押すと、入力されている内容を全て削除できます。
- My パネルと連携させて Web ブラウザーを使用しているユーザーの場合は、サーバーで管理されているユーザーの入力履歴が表示されます。My パネルでは、1 ユーザーあたり 20 件まで入力履歴を保持できます。

4.5.5 ［履歴］

［履歴］を押すと、表示履歴画面が表示されます。表示履歴の一覧から再度表示したいページを選択します。複合機では 100 件まで表示履歴を保持できます。

参考

- My パネルと連携させて Web ブラウザーを使用しているユーザーの場合は、サーバーで管理されているユーザーの表示履歴が表示されます。My パネルでは、1 ユーザーあたり 20 件まで表示履歴を保持できます。

［表示履歴］

項目	説明
［アドレス表示］／［タイトル表示］	表示履歴をアドレスで表示するか、タイトルで表示するか切換えます。
［すべて削除］	表示履歴を全て削除します。 表示履歴を削除するには、管理者権限が必要です。
［閉じる］	表示履歴の一覧を閉じます。

を押すと、その項目に対して利用できる操作の一覧が表示され、選択した操作を行うことができます。ここでは、以下の操作ができます。

項目	説明
［新しいウィンドウで開く］	選択している表示履歴を新しいウィンドウで読込みます。
［削除］	選択している表示履歴を削除します。 表示履歴を削除するには、管理者権限が必要です。
［閉じる］	この画面を閉じます。

4.5.6 ［印刷］

［印刷］を押すと、印刷画面が表示されます。

印刷設定を行ったあとに、［実行］または**スタート**を押すと、表示しているコンテンツが印刷されます。

項目	説明
［用紙］	印刷する用紙のサイズを設定します。
［片面 / 両面］	両面印刷するかどうか設定します。
［スタンプ設定］	［タイトル］、［URL］、［日付 / 時刻］、［ページ番号］を印字するかどうか設定します。
［仕上り］	ソート、グループ、仕分け、ステープル、パンチ、紙折り、中とじの設定をします。

参考

- メモリーを多く消費するWebページやJPEGなどの画像ファイルを印刷すると、読込みエラーが発生し、印刷できない場合があります。
- ［仕上り］の設定値は、オプションの装着状態によって異なります。
- ステープル機能はオプションのフィニッシャーを装着した場合に使用できる機能です。
- パンチ機能はオプションのフィニッシャーにパンチキットを装着した場合に使用できる機能です。
- 紙折り、中とじ機能はオプションのフィニッシャーに中綴じ機を装着した場合に使用できる機能です。

4.5.7 ［メニュー］

［メニュー］を押すと、Web ブラウザーの設定ができます。メニューには、ユーザー用のメニューと管理者用のメニューがあります。

詳しくは、4-16 ページをごらんください。

4.6　Web ブラウザーの設定を行う

ツールバーで［メニュー］を押すと、ユーザー用のメニューが表示されます。ユーザーは、Web ブラウザーの操作に関する設定や情報の確認のみできます。

複合機の管理者は、Web ブラウザーの操作に関する設定に加え、使用環境やセキュリティーに関する設定ができます。管理者用のメニューを表示するには、メニューの画面で［管理者］を押し、管理者パスワードを入力します。

4.6.1　［ページ操作］

［ページ操作］タブでは、ページの操作に関する設定を行います。

項目	説明
［ホームページに設定］*	表示しているページをホームページとして登録します。
［ページメモ］	ページメモとして保存しているページの一覧を表示します。一覧からページメモを選択すると、該当のページを表示します。 を押すと、その項目に対して利用できる操作の一覧が表示され、選択した操作を行うことができます。
［ページメモとして保存］	表示しているページをそのまま保存します。
［ズーム表示］	［ズーム表示］を押すと、表示しているページを拡大および縮小するためのキーが表示されます。キーを押して、ページの表示を調整します。

参考

- * の付いている項目は管理者のメニューだけに表示されます。
- My パネルと連携させて Web ブラウザーを使用しているユーザーの場合は、［ホームページに設定］が表示されます。

4.6.2　［表示］

［表示］タブでは、コンテンツの表示に関する設定を行います。複合機の管理者は、画像やアニメーションを表示するかどうかの設定や、JavaScript を有効にするかどうかの設定など、コンテンツの表示に関する詳細な設定ができます。

項目	説明
［表示モード］	Web ブラウザーの画面表示モードを［通常］、［Just-Fit Rendering］、［Smart-Fit Rendering］から設定します。 詳しくは、4-11 ページをごらんください。
［エンコード］	コンテンツを表示するときのエンコードの種類を設定します。
［詳細設定］	コンテンツの表示に関する設定を行います。 ＜管理者の場合＞ ・［画像］：画像を表示する場合はチェックします。 ・［アニメーション］：アニメ GIF を表示する場合はチェックします。 ・［テーブル］：HTML のテーブルを認識して、レイアウトを調整する場合はチェックします。 ・［JavaScript］：コンテンツ中の JavaScript を有効にする場合はチェックします。 ・［CSS］：コンテンツ中の CSS を有効にする場合はチェックします。 ・［ワードラップ］：コンテンツ中のワードラップを有効にする場合はチェックします。 ・［禁則処理］：コンテンツ中の禁則処理を有効にする場合はチェックします。 ・［Rapid-Render］：Rapid-Render 機能を有効にする場合はチェックします。 ・［ポップアップウィンドウ］：ポップアップウィンドウ表示を許可する場合はチェックします。 ・［オフライン許可］：オフラインでの使用を許可する場合はチェックします。 ・［Flash 自動再生］：Flash コンテンツを自動再生する場合はチェックします。 ＜ユーザーの場合＞ ・［オフライン表示を有効］：オフライン表示を有効にする場合はチェックします。管理者により［オフライン許可］が許可されている場合に表示されます。
［選択色設定］	項目を選択したときの選択色を［グリーン］、［ブルー］、［イエロー］、［オレンジ］から設定します。

4.6.3　［ウィンドウ操作］

［ウィンドウ操作］タブでは、ウィンドウの操作を行います。ウィンドウは最大で 5 つまで開くことができます。

項目	説明
［新しいウィンドウの作成］	ホームに登録した URL のコンテンツを、新しいウィンドウで開いて表示します。
［新しいウィンドウで開く］	リンク先のページを、新しいウィンドウで開いて表示します。
［このウィンドウを閉じる］	アクティブになっているウィンドウを閉じます。
［他のウィンドウを閉じる］	全てのウィンドウを閉じます。 ウィンドウを 1 つしか開いていない場合は、選択できません。

4.6.4 ［設定］

［設定］タブでは、Web ブラウザーの情報の確認やリセットを行います。複合機の管理者は、Web ブラウザーの使用環境やセキュリティーに関する設定ができます。

項目	説明
［スタートアップ設定］*	Web ブラウザー起動時に、ホームページに登録したページを表示するか、前回の最後に表示していたページを表示するか設定します。
［セキュリティ］*	SSL/TLS の使用設定、ルート証明書や CA 証明書の表示を行います。
［Cookie］*	Cookie の受信に関する設定および削除に関する設定を行います。また、複合機に保存されている Cookie を全て削除します。
［キャッシュ］*	キャッシュの使用に関する設定および削除に関する設定を行います。また、複合機に保存されているキャッシュを全て削除します。
［プロキシ］*	プロキシの使用に関する設定を行います。 プロキシを使用する場合は、プロキシサーバーのアドレスやポートを登録します。プロキシ認証を必要とする場合は、プロキシ認証で使用する ID とパスワードを登録します。
［認証情報］*	コンテンツで入力した認証情報を削除するタイミングを設定します。また、複合機に保存されている認証情報を全て削除します。
［アクセスログ］*	全てのユーザーのアクセス履歴を確認します。 ［ID］、［ユーザー名］、［URL］、［アクセス日時］を確認できます。
［Web ブラウザー情報］	Web ブラウザーの情報を表示します。
［リセットする］	Web ブラウザーを再起動します。

参考

- * の付いている項目は管理者のメニューだけに表示されます。
- My パネルと連携させて Web ブラウザーを使用しているユーザーの場合は、以下の設定ができます。
  - ［スタートアップ設定］
  - ［Cookie］の削除に関する設定
  - ［認証情報］の削除に関する設定
- My パネルでは、1 ユーザーあたり 20 件まで Cookie および認証情報を保持できます。

4.7　　文書ファイルを印刷、表示、保存する

表示されているコンテンツ内に文書ファイルへのリンクがある場合は、文書ファイルを印刷、表示、保存できます。

- 文書ファイルは、PDF 形式、XPS 形式に対応しています。
- XPS ファイルの表示はできません。

コンテンツ内の文書ファイルへのリンクを押すと、文書ファイルトップ画面が表示されます。

4.7.1　　文書ファイルを印刷する

［印刷］を押すと、印刷画面が表示されます。

印刷設定を行ったあとに、［実行］または**スタート**を押すと、文書ファイルをダウンロードして印刷します。

項目	説明
［用紙］	印刷する用紙のサイズを設定します。
［片面 / 両面］	両面印刷するかどうか設定します。
［スタンプ設定］	［日付 / 時刻］、［ページ番号］を印字するかどうか設定します。
［仕上り］	ソート、グループ、仕分け、ステープル、パンチ、紙折り、中とじの設定をします。

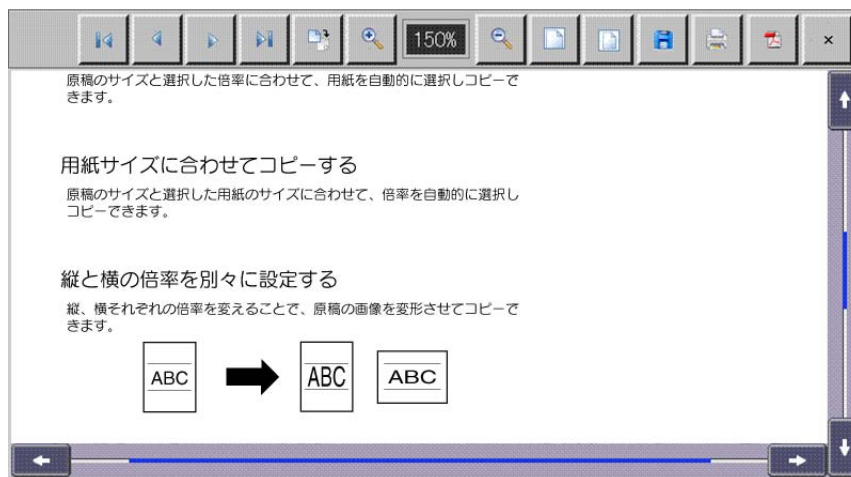
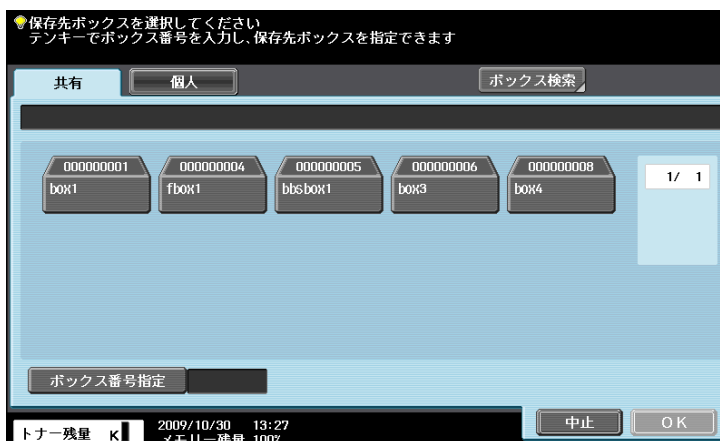
参考

- メモリーを多く消費する文書ファイルを印刷すると、読込みエラーが発生し、印刷できない場合があります。
- ダウンロードした PDF が暗号化されている場合は、印刷されずに暗号化 PDF ボックスに保存されます。
- ［仕上り］の設定値は、オプションの装着状態によって異なります。
  - ステープル機能はオプションのフィニッシャーを装着した場合に使用できる機能です。

- パンチ機能はオプションのフィニッシャーにパンチキットを装着した場合に使用できる機能です。
- 紙折り、中とじ機能はオプションのフィニッシャーに中綴じ機を装着した場合に使用できる機能です。

4.7.2　文書ファイルを表示する

［表示］を押すと、リンク先の PDF ファイルが表示されます。

画面上部のツールバーから、PDF ファイルの拡大や縮小、印刷、保存などの操作ができます。

キー	説明
	最初のページに戻ります。
	前のページに戻ります。
	次のページに進みます。
	最後のページに進みます。
	表示を右方向に 90 度回転します。
	表示倍率を上げます。
	表示倍率を下げます。
	表示領域の横幅に合わせて表示します。
	1 ページ全体を表示します。
	ボックスを選択し、文書ファイルを保存します。
	印刷設定を行い、文書ファイルを印刷します。
	スプラッシュウィンドウ（ソフトウェア起動時に一時的に表示される画面）を表示します。
×	表示画面を閉じます。

4.7.3　文書ファイルを保存する

［保存］を押すと、保存先のボックスを選択する画面が表示されます。

保存先のボックスを選択して［OK］を押し、［実行］または**スタート**を押すと、文書ファイルがボックスに保存されます。

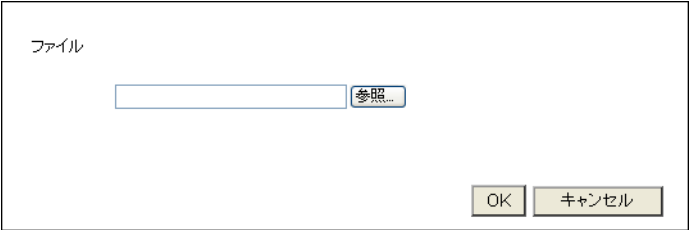
参考

- 文書ファイルを保存する場合は、あらかじめ複合機で保存先のボックスの登録を行ってください。詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。
- Web ブラウザーからボックスに保存した文書ファイル（フルカラー）を印刷する場合は、［倍率］および［ページ集約］を設定できません。

4.8 文書ファイルをアップロードする

サーバー上で文書ファイルを共有している場合などは、スキャンして読込んだ文書ファイルやボックス内の文書ファイルを、Web ブラウザーを使用してサーバーにアップロードできます。

ここでは、以下のようなアップロードサイトを例に、文書ファイルをアップロードする操作を説明します。

例

項目	説明
［参照］	アップロードする文書ファイルを選択するためのボタンです。 HTML の Input タグで type="file" に指定されています。
［OK］	アップロードを実行するためのボタンです。 HTML の Input タグで type="submit" に指定されています。

4.8.1 制限事項

この機能を使用する場合は、以下の制限があります。

- アップロードできる文書ファイルの形式は、PDF、TIFF、XPS です。また、ページを分割することはできません。
- 同時に複数の文書ファイルをアップロードすることはできません。
- ユーザーがファイル名のテキストボックスを手動で編集することはできません。
- アップロードする文書ファイルを選択したあと、以下の操作が行われた場合、ジョブが削除され、選択したファイルが削除されます。

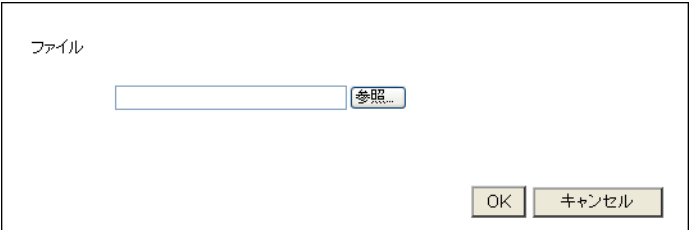
- システムオートリセット機能が動作した場合
- Web ブラウザーを閉じた場合
- Web ブラウザーのツールバーの操作などにより、アップロードサイトを更新した場合
- Web ブラウザーを再起動した場合
- ログイン中のユーザーがログアウトした場合
- 副電源を OFF にした場合
- **リセット**を押し、パネルをリセットした場合

4.8.2 スキャンした文書ファイルをアップロードする

スキャンして読込んだ文書ファイルをアップロードする手順を説明します。

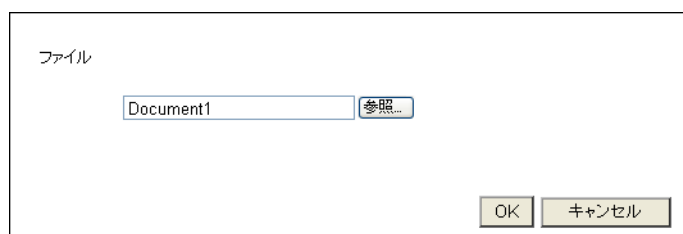
参考

- スキャン操作が禁止されているユーザーの場合は、この操作はできません。
- アップロードする原稿をスキャンして読込むときに、ファイル形式を JPEG に設定することはできません。

1 複合機の Web ブラウザーでアップロードサイトを表示します。

2 アップロードする文書ファイルを選択するためのボタンを押します。

➔ 例では［参照］を押します。

3 ［スキャン］を押します。

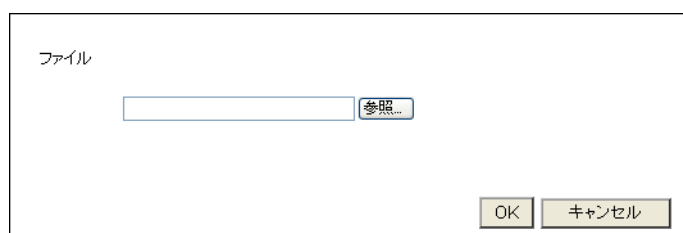
4 アップロードする原稿を複合機にセットします。

5 読込み設定をして、［実行］または**スタート**を押します。

➔ **プレビュー**を押すと、仕上りを確認できます。

読込みが終了すると、テキストボックスにファイル名が表示されます。

6 アップロードを実行するためのボタンを押します。

➔ 例では［OK］を押します。

文書ファイルのアップロードが開始されます。

4.8.3 ボックス内の文書ファイルをアップロードする

ボックスから取出した文書ファイルをアップロードする手順を説明します。

参考

- 蓄積文書操作が禁止されているユーザーの場合は、この操作はできません。
- ボックス内の文書をアップロードする場合は、あらかじめボックスを作成し、文書を保存しておく必要があります。
- 選択できるボックスは、共有ボックスと個人ボックスのみです。
- アップロードする文書ファイルをボックスから選択するときに、ファイル形式を JPEG に設定することはできません。JPEG 形式でボックスに保存している文書ファイルを選択する場合は、ファイル形式が PDF に変更されます。必要に応じて、アップロードする前にファイル形式を設定し直してください。
- アップロードする文書ファイルとして、ページ分割の設定をしてボックスに保存している文書ファイルを選択する場合は、ページ分割の設定は解除され、ページ一括に変更されます。

1 複合機の Web ブラウザーでアップロードサイトを表示します。

2　アップロードする文書ファイルを選択するためのボタンを押します。

➔ 例では［参照］を押します。

3　［ボックス］を押します。

4　ボックスを選択し、［文書利用］を押します。

5　アップロードする文書ファイルを選択し、［ファイル設定］を押します。

➔ 複数の文書ファイルを選択して［バインド設定］を押すと、複数の文書ファイルを 1 ファイルに結合できます。必要に応じて、結合の順番を変更できます。

➔ 文書ファイルを選択して［文書詳細］を押すと、文書が保存された日時やプレビュー画像などを確認できます。

6　ファイルの設定をして、［実行］または**スタート**を押します。

➔ ［応用設定］を押すと、スタンプやページ番号の印字の設定ができます。

テキストボックスにファイル名が表示されます。

7　アップロードを実行するためのボタンを押します。

➔ 例では［OK］を押します。

文書ファイルのアップロードが開始されます。

5 PageScope Web Connection （Web ブラウザー機能）

5 PageScope Web Connection（Web ブラウザー機能）

5.1 PageScope Web Connection の使い方

PageScope Web Connection とは、本体に内蔵されている HTTP サーバーが提供する、デバイス管理用ユーティリティーです。Web ブラウザーを使用して、ネットワークに接続された複合機に直接アクセスして利用します。

複合機に搭載されている Web ブラウザーで利用する場合は、利用できる機能がボックス機能に限定されます。

本章では、複合機に搭載されている Web ブラウザーで PageScope Web Connection を操作して、ネットワーク上の複合機のボックス内の文書を利用する方法について説明します。

参考

- この機能は、i-Option LK-101 v2 または i-Option LK-103 v2 が登録されている複合機で使用できます。
- アクセス先の複合機にもi-Option LK-101 v2またはi-Option LK-103 v2が登録されている必要があります。
- 複合機に搭載されている Web ブラウザーの使い方について詳しくは、4-2 ページをごらんください。
- コンピューターの Web ブラウザーから PageScope Web Connection を操作する場合は、複合機の状態確認や設定変更、ネットワーク設定など様々な機能を利用できます。詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編] をごらんください。

5.1.1 事前確認

Web ブラウザーのキャッシュ機能により、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こる場合があります。

PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザーのキャッシュ機能を無効にしてください。

参考

- キャッシュ機能の設定を変更するには、管理者権限が必要です。

1 Web ブラウザーのツールバーから [メニュー] を押します。

2 [管理者] を押します。

3 管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。

4 [設定] タブを押し、[キャッシュ] を選択します。

5 [キャッシュを使用する] のチェックをはずして、[OK] を押します。

5.1.2 アクセス方法

Web ブラウザーを起動して、アクセスしたい複合機の IP アドレスを指定します。

1 Web ブラウザーのツールバーから［URL 入力］を押します。

2 入力フォームを押し、キーボード画面を表示させます。

3 アクセスしたい複合機の IP アドレスを入力して、［OK］を押します。

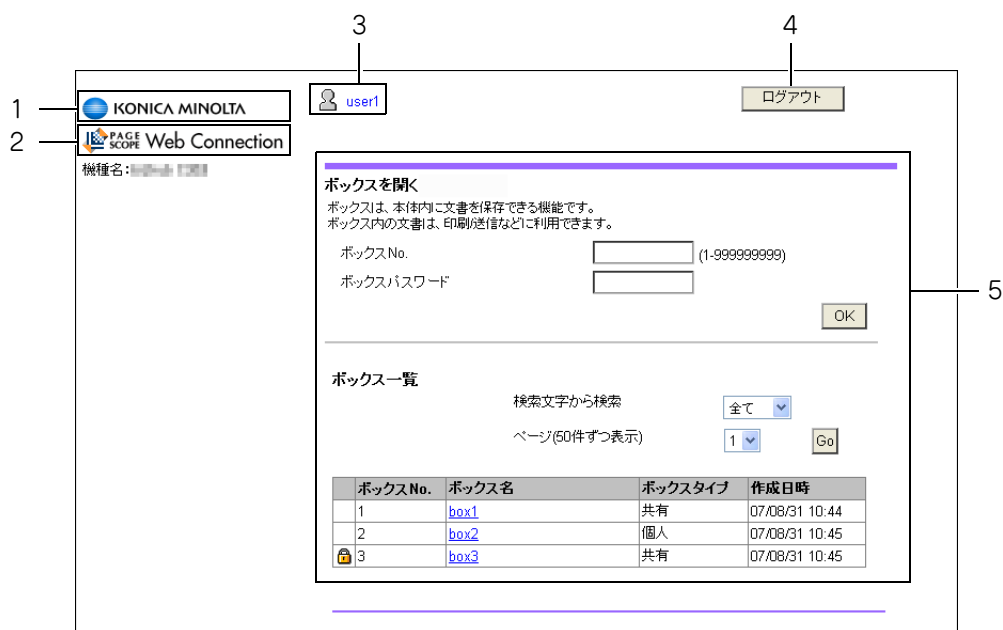
4 ［OK］または［新しいウィンドウで開く］を押します。

PageScope Web Connection の画面が表示されます。

参考

- Web ブラウザーの設定で、Cookie を受信しないように設定している場合は、PageScope Web Connection の画面を表示できません。Cookie の設定について詳しくは、4-18 ページをごらんください。
- アドレス入力画面を表示すると、現在表示中のページの URL が入力されています。入力されている URL は、キーボード画面を表示し、［削除］を押すことで削除できます。また、**操作パネル**の **C**（クリア）を押すと、入力されている URL を全て削除できます。

5.2　　画面構成

PageScope Web Connection の画面は、以下のように構成されています。

No.	名称	説明
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークを押すと、KONICA MINOLTA のサイト（http://www.konicaminolta.com/）へジャンプします。
2	PageScope Web Connection ロゴマーク	ロゴマークを押すと、PageScope Web Connection のバージョンが表示されます。
3	ログインユーザー名	現在ログインしているモードのアイコンとユーザー名（パブリック、登録ユーザー名、部門名）が表示されます。
4	[ログアウト]	現在のモードからログアウトするときに押します。
5	内容の表示	PageScope Web Connection の内容が表示されます。

5.3 ログインとログアウト

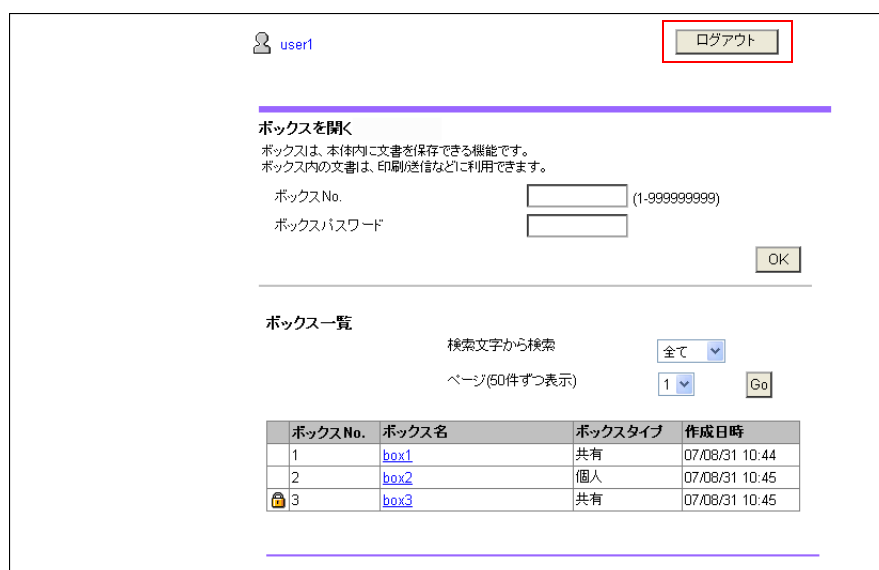
複合機でユーザー認証や部門管理を行っている場合は、PageScope Web Connection を表示するとログイン画面が表示されます。

参考

- ユーザー認証や部門管理を行っていないときは、パブリックユーザーとしてログインした画面が表示されます。
- 複合機に搭載されている Web ブラウザーで利用する場合は、PageScope Web Connection の管理者モードはありません。

5.3.1 ログイン

パブリックユーザーとしてログインするか、登録ユーザーとしてログインするかを選択します。外部サーバー認証を行っている場合は、外部認証サーバーを選択します。

必要事項を入力して、［ログイン］を押します。また、必要に応じて表示言語を選択できます。

参考

- ログインしたユーザーや部門によって、参照できるボックスが異なります。

5.3.2 ログアウト

画面右上の［ログアウト］を押すと、ログアウトを確認する画面が表示されます。［OK］を押すとログイン画面に戻ります。

5.4 ボックス機能を利用する

複合機に搭載されている Web ブラウザーで PageScope Web Connection を利用する場合は、ボックス機能として以下の操作ができます。

- 使用している複合機、またはネットワークに接続された別の複合機のボックス内の文書を操作する。
- ボックスタイプとして、共有ボックス、個人ボックス、グループボックスを利用できる。
- ボックス内の文書を表示、印刷、削除する。

5.4.1 ボックスを開く

PageScope Web Connection でログインすると、アクセスした複合機に登録されているボックス（共有ボックス、個人ボックス、グループボックス）の一覧が表示されます。

［ボックスを開く］

ボックス一覧で目的の［ボックス名］を選択します。または、［ボックス No.］と［ボックスパスワード］を直接入力して［OK］を押します。

参考

- ［ボックス一覧］で［ボックス名］を選択する場合、選択したボックスにパスワードが設定されていると、パスワードを入力する画面が表示されます。

［ボックスを開く］

項目	説明
［ボックス No.］	開きたいボックスのボックス番号を入力します。
［ボックスパスワード］	ボックスにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

［ボックス一覧］

項目	説明
［検索文字から検索］	ボックス作成時に選択した検索文字別に表示を切換えます。
［ページ（50 件ずつ表示）］	ボックスが 50 個以上ある場合は、ページを指定して表示を切換えます。
ボックス一覧	［ボックス No.］、［ボックス名］、［ボックスタイプ］、［作成日時］が表示されます。 パスワードが設定されているボックスには、鍵アイコンがついています。

［文書一覧］

［ボックスを開く］でボックスを選択すると、ボックスの基本的な情報とボックスに保存されている文書の一覧が表示されます。

項目	説明
［サムネイル表示］	文書のサムネイル画像を表示するかどうか設定します。 ［OFF］にすると、リスト表示になります。
［操作を選択］	操作を選択します。 詳しくは、5-8 ページをごらんください。
［表示切替］	選択した操作ができる文書に、［選択］チェックボックスが表示されます。
［選択］	操作できる文書にチェックボックスが表示されます。
［サムネイル］	文書のサムネイル画像が表示されます。
［文書名］	文書名が表示されます。
［原稿枚数］	文書の原稿枚数が表示されます。
［名称変更］	文書名を変更できます。

5.4.2　文書の操作のしかた

選択した文書の印刷、削除を行うことができます。

印刷する

1　［操作を選択］で［印刷］を選択して、［表示切替］を押します。

印刷できる文書にチェックボックスが表示されます。

2　操作を行う文書にチェックを入れ、［印刷設定］を押します。

3　必要に応じて設定し、［OK］を押します。

➔［ページ範囲］では、選択した文書の全てのページを印刷するか、ページを指定して印刷するか選択します。

➔［順番を変更する］では、複数の文書を印刷する場合に、印刷する順番を変更できます。

4　［ファイルを表示］を押します。

5　［印刷］を押します。

➔［表示］を押すと、PDF が表示されます。表示された PDF を印刷するには、を押します。

6　印刷設定を行い、［実行］または**スタート**を押します。

参考

- 接続先の複合機の［機能バージョン］が［バージョン 3］でない場合は、手順 4 で［ファイルを表示］を押すと、PDF がパネルに表示されます。表示された PDF を印刷するには、を押します。複合機の機能バージョンは、［設定メニュー］の［装置情報表示］で確認できます。

削除する

1　［操作を選択］で［削除］を選択して、［表示切替］を押します。

削除できる文書にチェックボックスが表示されます。

2　操作を行う文書にチェックを入れ、［削除］を押します。

➔ ［選択 / 選択解除（全ての文書に適用されます。）］にチェックを入れると、全ての文書を選択できます。

3　削除する文書名を確認して、［OK］を押します。

文書が削除されます。

6 イメージパネル

6 イメージパネル

6.1 概要

イメージパネルとは、ユーザーにとってより直感的でわかりやすい操作性を実現する、新しいパネルインターフェースです。

参考

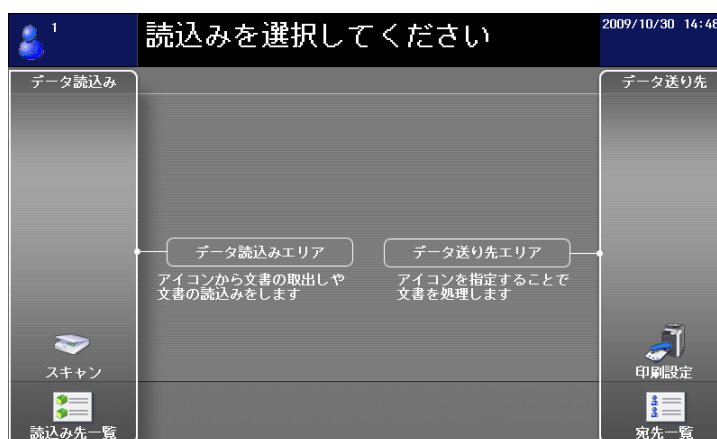
- この機能は、i-Option LK-101 v2 または i-Option LK-103 v2 が登録されている複合機で使用できます。
- ［管理者設定］で［ユーザー認証 / 部門管理］▸▸［送信宛先制限］が［制限する］に設定されている場合は、イメージパネルを使用できません。

イメージパネルの特長

イメージパネルでは、操作ワークフローを「文書の読込み」、「編集」、「送り先の指定」の 3 工程に分け、それらを 1 画面で操作できます。そのため、操作ワークフロー全体を簡単に把握でき、今どのような操作をしているのかが分かりやすくなっています。

イメージパネルは操作性を重視するため、従来のパネルで設定できる機能の中から使用できる機能を限定しています。

My パネル機能、My アドレス機能を使用できる場合は、イメージパネルの画面をユーザー専用にカスタマイズすることもできます。

参照

My パネル機能について詳しくは、10-2 ページをごらんください。

My アドレス機能について詳しくは、11-2 ページをごらんください。

6.2　イメージパネルを表示する

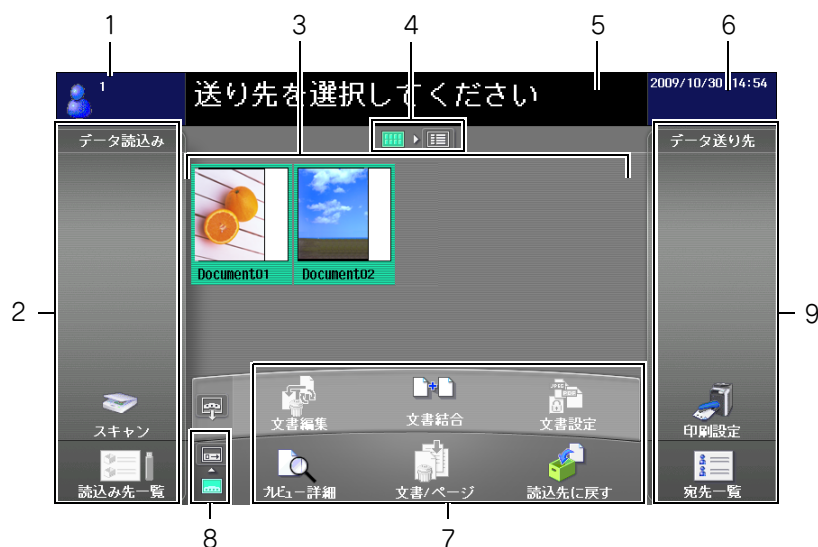
［アプリケーションメニュー］で［イメージパネル］を押すと、イメージパネルのトップ画面が表示されます。

参照

［アプリケーションメニュー］について詳しくは、3-3 ページをごらんください。

6.3　　イメージパネルの操作方法

6.3.1　　画面構成

イメージパネルの画面は、以下のように構成されています。

No.	名称	説明
1	ログイン情報エリア	ログインしているユーザーのユーザー名とアイコンが表示されます。
2	データ読込みエリア	スキャンによる文書の読込みや、ボックスおよび外部メモリーからの文書の取出し、携帯電話や PDA からの送信を行います。
3	デスクトップエリア	データ読込みエリアで読込んだ文書が、サムネイルまたはリストで表示されます。
4	リスト表示／サムネイル表示切換え	デスクトップエリアの表示をリスト表示にするか、サムネイル表示にするか切換えます。
5	メッセージエリア	操作手順などの補助メッセージが表示されます。
6	ステータスエリア	日付、現在時刻が表示されます。 警告が発生した場合は、警告アイコンが表示されます。
7	編集ツールエリア	読込んだ文書のページ編集、結合、設定変更などができます。
8	送信トレイ／編集ツール表示切換え	送信トレイと編集ツールの表示を切換えます。 送信トレイについて詳しくは、6-16 ページをごらんください。
9	データ送り先エリア	読込んだ文書の送り先を［印刷設定］、［宛先一覧］から指定します。

6.3.2 操作の流れ

イメージパネルを「文書を読込む」、「編集する」、「送り先を指定する」の順に操作して、読込んだ文書を送信するまでの流れを説明します。

参考

- 先に送り先を指定した後、文書を読込むこともできます。

データ読込みエリアで、文書の読込みや取出しを行います。
- ・ 文書をスキャンして読込む場合は、文書をセットしたあと、［スキャン］を押します。必要に応じて読込みの設定を行い、文書の読込みを開始します。詳しくは、6-7 ページをごらんください。
- ・ ボックスに保存されている文書を利用する場合は、［読込み先一覧］からボックスを選択し、取出す文書を選択します。詳しくは、6-8 ページをごらんください。
- ・ 外部メモリーに保存されている文書を利用する場合は、［読込み先一覧］から［外部メモリー］を選択し、取出す文書を選択します。詳しくは、6-9 ページをごらんください。
- ・ 携帯電話や PDA に保存されているデータを利用する場合は、［読込み先一覧］から［携帯電話］を選択します。詳しくは、6-10 ページをごらんください。

［スキャン］を選択

［読込み先一覧］を選択

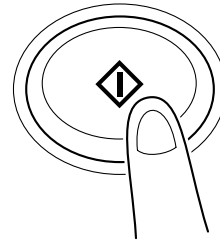
編集ツールエリアで、読込んだ文書を編集します。詳しくは、6-11 ページをごらんください。

データ送り先エリアで、読込んだ文書の送り先を指定します。
- ・ 印刷する場合は、［印刷設定］を押します。詳しくは、6-14 ページをごらんください。
- ・ 送信する場合は、［宛先一覧］から宛先を指定します。詳しくは、6-15 ページをごらんください。
- ・ 外部メモリーに保存する場合は、宛先一覧画面で［外部メモリー］を押します。詳しくは、6-15 ページをごらんください。

［印刷設定］を選択

［宛先一覧］を選択

送り先を指定すると、送信トレイが表示されます。詳しくは、6-16 ページをごらんください。

スタートを押すと、文書が送信されます。
- 携帯電話や PDA からデータを送信する場合は、**スタート**を押すと、PIN コードが表示されます。携帯電話 /PDA に PIN コードを入力して、データを複合機に送信します。送信したデータは、指定した送り先に送信されます。詳しくは、6-17 ページをごらんください。

6.3.3　文書を読込む

スキャンによる文書の読込みや、ボックスおよび外部メモリーからの文書の取出し、携帯電話や PDA からのデータの送信を行います。

スキャンして読込む

［スキャン］を押すと、読込み設定画面が表示されます。必要に応じて読込み設定を行い、［読込み］を押します。

参考

- スキャンして読込む場合は、1 文書のみ読込むことができます。

項目	説明
［原稿画質］	文書の内容に合わせて画質を［文字］、［文字 / 写真］、［写真］、［薄文字原稿］、［コピー原稿］から選択します。
［片面 / 両面］	片面をスキャンするか、両面をスキャンするか選択します。
［解像度］	スキャンの解像度を［200 × 100dpi（普通）］、［200 × 200dpi（精細）］、［300 × 300dpi］、［400 × 400dpi（高精細）］、［600 × 600dpi（超高精細）］から選択します。
［ファイル形式］	ファイル形式を［PDF］、［コンパクト PDF］、［TIFF］、［JPEG］、［XPS］、［コンパクト XPS］から選択します。 また、ページ一括を 1 ファイルで保存するか、指定したページごとにファイルを分割して保存するかを選択します。［JPEG］を選択した場合は、［ページ一括］に設定できません。 分割したファイルを E-mail 添付で送信する場合は、［E-Mail への添付方法］を設定します。［全ファイル一括添付］を選択すると、分割したファイルを 1 メールに全て添付して送信します。［1 メール 1 ファイル］を選択すると、分割したファイルの数だけ E-mail を送信します。 ファイル形式で［コンパクト PDF］を選択すると、［アウトライン PDF］を設定できます。 複合機に **i-Option LK-102** または **i-Option LK-103 v2** が登録されている場合は、ファイル形式で［PDF］または［コンパクト PDF］を選択すると、［暗号化］、［PDF 文書のプロパティ］を設定できます。機能について詳しくは、8-2 ページをごらんください。 複合機に **i-Option LK-105** が登録されている場合は、ファイル形式で［PDF］または［コンパクト PDF］を選択すると、［サーチャブル PDF］を設定できます。機能について詳しくは、9-2 ページをごらんください。
［濃度］	スキャンの濃度を調整します。
［カラー］	スキャンのカラーを［オートカラー］、［フルカラー］、［グレースケール］、［白黒 2 値］から選択します。
［文書名］	文書名を設定します。
［連続読込み設定］	文書の読込みを数回に分割します。以下のような場合に便利です。 ・　文書の枚数が多く ADF にセットしきれない場合 ・　原稿ガラス上にセットする場合 ・　片面原稿や両面原稿が混在している場合

ボックスから取出す

［読込み先一覧］からボックスを選択すると、文書利用画面が表示されます。取出す文書を選択して、［OK］を押します。

参考

- 選択したボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。
- １つのボックスのみ選択できます。
- 一度にボックス内の 10 文書まで取出すことができます。
- 送り先にボックスが指定されている場合は、複数の文書を取出すことができません。
- 文書を取出したボックスと同一のボックスを、送り先として指定することはできません。

項目	説明
［名称変更］	選択した文書の名称を変更できます。
［文書詳細］	選択した文書の詳細情報やプレビュー画像を確認できます。

外部メモリーから取出す

［読込み先一覧］から［外部メモリー］を選択すると、外部メモリー内の文書の一覧が表示されます。取出す文書を選択して、［OK］を押します。

参考

- 外部メモリーから文書を取出すには、文書の利用目的に応じて、複合機で以下の設定を行う必要があります。
- 取出した文書を印刷する場合は、［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［ボックス設定］▸▸［外部メモリー機能設定］で［文書印刷］を［ON］に設定します。さらに、ユーザー認証を行う場合は、［管理者設定］▸▸［ユーザー認証 / 部門管理］▸▸［ユーザー認証設定］▸▸［ユーザー登録］で、ユーザーごとに［機能制限］▸▸［プリンター印字］を［許可する］に設定します。
- 取出した文書をボックスに保存する場合は、［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［ボックス設定］▸▸［外部メモリー機能設定］で［外部メモリー文書読込み］を［ON］に設定します。さらに、ユーザー認証を行う場合は、［管理者設定］▸▸［ユーザー認証 / 部門管理］▸▸［ユーザー認証設定］▸▸［ユーザー登録］で、ユーザーごとに［機能制限］▸▸［外部メモリー文書読込み］を［許可する］に設定します。
- 外部メモリーから取出すことができる文書の形式は、PDF、TIFF、JPEG、XPS です。
- 外部メモリーから最大 200 文書まで取出すことができます。
- フォルダーを開く場合は、開きたいフォルダーを選択し、［開く］を押します。
- JPEG 文書と他形式の文書を同時に選択することはできません。
- 外部メモリーから文書を取出した場合は、［スキャン］または［読込み先一覧］から文書を読込むことはできません。
- 外部メモリーから取出した文書の送り先として指定できるのは、［印刷設定］またはボックスの一方のみです。また、送り先として指定できるボックスは 1 つのみです。ボックスへ保存する場合は、ボックスを作成した後、短縮宛先にボックスを登録しておく必要があります。
- 送り先にボックス以外の宛先が指定されている場合は、［外部メモリー］を選択できません。

携帯電話や PDA に保存されているデータを利用する

［読込み先一覧］から［携帯電話］を選択します。［携帯電話 /PDA］を選択して、［OK］を押すと、デスクトップエリアに携帯電話のアイコンが表示されます。

＜携帯電話 /PDA との通信に関する仕様＞

項目	仕様
通信プロトコル	Bluetooth Ver.2.0 + EDR
対応プロファイル	OPP/BPP/SPP
対応ファイル形式	PDF/CPDF/XPS/CXPS/TIFF/JPEG/XHTML/RepliGo
対応 XHTML ファイル	文字コード：UTF-8、Shift-JIS、ISO-8859 リンクファイルの拡張子：JPEG、JPG、PNG

参考

- 携帯電話や PDA と複合機を連携させるには、複合機にオプションの**ローカル接続キット EK-605** を装着する必要があります。さらに、複合機で以下の設定を行う必要があります。
- ［管理者設定］▶▶［ネットワーク設定］▶▶［Bluetooth 設定］を［有効］に設定し、かつ［管理者設定］▶▶［システム連携］▶▶［携帯電話 /PDA 設定］を［許可する］に設定します。
- ユーザー認証を行う場合は、［管理者設定］▶▶［ユーザー認証 / 部門管理］▶▶［ユーザー認証設定］［ユーザー登録］で、ユーザーごとに［機能制限］▶▶［携帯電話 /PDA］を［許可する］に設定します。
- ［携帯電話 /PDA］を選択した場合は、［スキャン］または［読込み先一覧］から文書を読込むことはできません。
- 携帯電話や PDA に保存されているデータの送り先として指定できるのは、［印刷設定］またはボックスの一方のみです。また、送り先として指定できるボックスは 1 つのみです。ボックスへ保存する場合は、ボックスを作成した後、短縮宛先にボックスを登録しておく必要があります。
- 送り先に［印刷設定］またはボックス以外の宛先が指定されている場合は、［携帯電話］を選択できません。
- RepliGo のバージョンは、2.1.0.8 に対応しています。
- XHTML ファイルを印刷する場合は、WebDAV クライアント機能によってリンク先のファイルを取得するため、あらかじめ複合機で以下の設定を行う必要があります。
- ［管理者設定］▶▶［ネットワーク設定］▶▶［WebDAV 設定］▶▶［WebDAV クライアント設定］を［使用する］に設定します。
- プロキシを経由する場合は、［WebDAV クライアント設定］で［プロキシサーバーアドレス］に、プロキシサーバーを登録します。さらに、［ユーザー設定］▶▶［携帯電話 /PDA 設定］▶▶［プロキシサーバー使用］を［する］に設定します。
- 必要に応じて、［ユーザー設定］▶▶［携帯電話 /PDA 設定］▶▶［リンクファイルエラー時の出力］で、リンク先のファイルを取得できない場合の動作を設定します。

参照

携帯電話や PDA からデータを送信する操作について詳しくは、6-17 ページをごらんください。

携帯電話や PDA と複合機を連携させる機能は、ライセンスキットが登録されていなくても利用できます。詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］および［ユーザーズガイド プリンター機能編］をごらんください。

6.3.4 編集する

読込んだ文書を編集します。

参考

- 携帯電話や PDA に保存されているデータを利用する場合は、プレビュー画像の確認や編集ができません。

[プレビュー詳細]

選択した文書の詳細情報やプレビュー画像を確認できます。

参考

- 外部メモリーから取出した文書の場合は、[プレビュー詳細] を確認できません。
- 結合した文書の場合は、最初の順序の文書のみプレビュー画像を確認できます。

[文書 / ページ] - [文書編集]

選択した文書のページの編集を行います。

向きを誤って読込んでしまったページを回転したり、不要なページを削除したりできます。複数ページの文書の場合は、ページを移動してページの順番を入れ替えることができます。また、ページの内容を確認したい場合は、ページのプレビュー画像を確認できます。

参考

- 複数の文書を選択した場合は、ページの編集はできません。
- 結合した文書を選択した場合は、ページの編集はできません。

項目	説明
[奇数ページ]	奇数ページを選択します。
[偶数ページ]	偶数ページを選択します。

項目	説明
［プレビュー詳細 / 範囲指定］	ページのプレビュー画像を確認します。
［ページ削除］	選択したページを削除します。
［ページ回転］	選択したページを回転します。 回転角度は、左右 90 度または 180 度から選択できます。
［ページ移動］	選択したページを移動して順番を変更します。 サムネイル画像を確認しながら、移動する位置を選択できます。

［文書 / ページ］-［文書結合］

選択した複数の文書を結合します。［文書移動］を押すと、結合する順番を変更できます。

参考

- 結合した文書は、送り先として［印刷設定］または［宛先一覧］の一方のみ選択できます。
- 一度に 10 文書まで結合できます。
- スキャンして読込んだ文書とボックスから取出した文書は、結合できません。

［文書 / ページ］- ［文書設定］

選択した文書を送信するときの設定を行います。

文書の解像度、ファイル形式、カラーの設定を変更できます。

参考

- 複数の文書を選択した場合は、文書の設定はできません。
- 外部メモリーから取出した文書を選択した場合は、文書の設定はできません。

項目	説明
［解像度］	送信時の解像度を［保存時の設定］、［200 × 100dpi（普通）］、［200 × 200dpi（精細）］、［300 × 300dpi］、［400 × 400dpi（高精細）］、［600 × 600dpi（超高精細）］から設定します。
［ファイル形式］	送信時のファイル形式を［PDF］、［コンパクト PDF］、［TIFF］、［JPEG］、［XPS］、［コンパクト XPS］から選択します。 また、ページ一括を 1 ファイルで保存するか、指定したページごとにファイルを分割して保存するかを選択します。［JPEG］を選択した場合は、［ページ一括］に設定できません。 分割したファイルを E-mail 添付で送信する場合は、［E-Mail への添付方法］を設定します。［全ファイル一括添付］を選択すると、分割したファイルを 1 メールに全て添付して送信します。［1 メール 1 ファイル］を選択すると、分割したファイルの数だけ E-mail を送信します。 ファイル形式で［コンパクト PDF］を選択すると、［アウトライン PDF］を設定できます。 複合機に i-Option LK-102 または i-Option LK-103 v2 が登録されている場合は、ファイル形式で［PDF］または［コンパクト PDF］を選択すると、［暗号化］、［PDF 文書のプロパティ］を設定できます。機能について詳しくは、8-2 ページをごらんください。 複合機に i-Option LK-105 が登録されている場合は、ファイル形式で［PDF］または［コンパクト PDF］を選択すると、［サーチャブル PDF］を設定できます。機能について詳しくは、9-2 ページをごらんください。
［カラー］	送信時のカラーを［保存時のカラー］、［フルカラー］、［グレースケール］、［白黒 2 値］から設定します。

［読込先に戻す］

［読込先に戻す］を押すと、選択している文書を読込先に戻します。

- スキャンして読込んだ文書は、複合機から削除されます。
- ボックスから取出した文書は、取出したボックスに戻します。

6.3.5　送り先を指定する

読込んだ文書の送り先を指定します。

印刷する

［印刷設定］を押すと、複合機でそのまま印刷できます。印刷の設定を行い、［OK］を押します。

参考

- 複数の文書を読込んでいる場合は、印刷設定を行うことはできません。
- 結合した文書を印刷する場合は［ページ集約］、［倍率］を設定できません。
- パスワードコピーでパスワードが埋め込まれた文書を印刷する場合は、［ページ集約］、［倍率］を設定できません。パスワードコピーについて詳しくは、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
- 外部メモリーから取出した文書を印刷する場合は［ページ集約］、［倍率］を設定できません。
- 外部メモリーから取出した JPEG、XPS、コンパクト XPS 形式の文書を印刷する場合は、［両面］を設定できません。また、［仕上り］でステープルおよびパンチを設定できません。
- 携帯電話や PDA に保存されているデータを印刷する場合は、印刷設定の確認のみできます。印刷設定の変更は、［ユーザー設定］▸▸［携帯電話 /PDA 設定］▸▸［印刷設定］で行います。

項目	説明
［部数］	**テンキー**で印刷する部数を指定します。
［印刷］	両面印刷するかどうか設定します。
［仕上り］	ソート、グループ、仕分け、ステープル、パンチの設定ができます。
［ページ集約］	ページ集約を行うかどうか設定します。 複数ページの文書を 1 枚の用紙に集約して印刷できます。
［倍率］	文書の倍率を設定します。
［連続印刷］	結合した文書を両面印刷する場合に設定できます。 結合した文書を印刷する場合は、複数の文書を続けて印刷します。両面印刷する場合に、ひとつの文書がおもて面でページを終了したとき、次の文書を前の文書の裏面に印刷するか、新しい用紙のおもて面から印刷するかを設定します。

参考

- ［仕上り］の設定値は、オプションの装着状態によって異なります。
  - ステープル機能はオプションのフィニッシャーを装着した場合に使用できる機能です。
  - パンチ機能はオプションのフィニッシャーにパンチキットを装着した場合に使用できる機能です。
- ［連続印刷］は、複数の文書を編集ツールで結合した後、送り先として［印刷設定］を選択した場合に表示されます。

宛先を指定する

［宛先一覧］から、文書を送信する宛先を指定します。

［検索］を押すと、本体に登録されている短縮宛先を参照できます。［グループ］を押すと、本体に登録されているグループ宛先を参照できます。

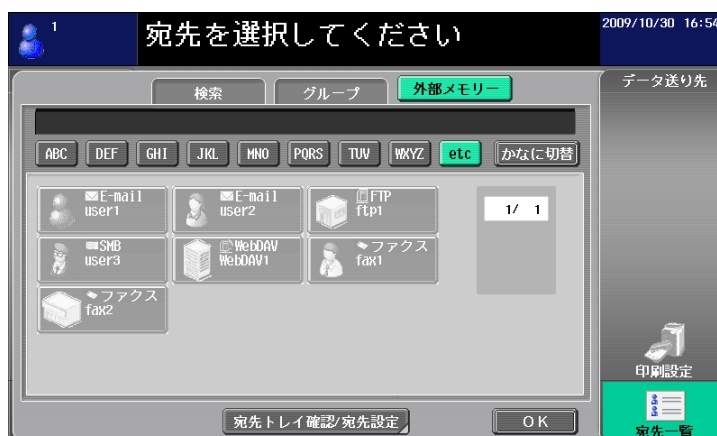
参考

- 複数の文書を読込んでいる場合は、ボックス宛先を選択できません。
- My アドレス機能を使用できる場合は、［My アドレス］を押すと、My アドレス帳を参照できます。My アドレスについて詳しくは、11-2 ページをごらんください。
- 宛先をすでに指定している場合は、［宛先トレイ確認 / 宛先設定］を押すと送信トレイを確認できます。
- 証明書が登録されている E-mail 宛先には、鍵アイコンが表示されます。
- 外部メモリーから取出した文書や、携帯電話や PDA に保存されている文書の送り先として指定できる短縮宛先は、ボックスのみです。

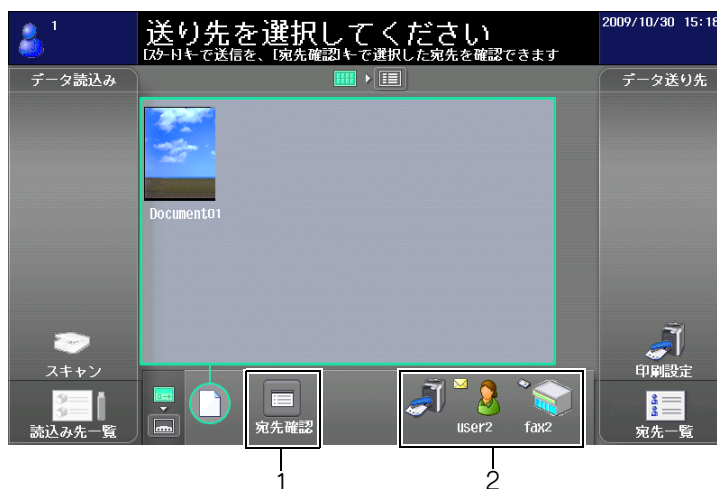
外部メモリーに保存する

［宛先一覧］から［外部メモリー］を選択し、［OK］を押します。

参考

- 外部メモリーに保存する場合は、［管理者設定］▶▶［環境設定］▶▶［ボックス設定］▶▶［外部メモリー機能設定］で［文書保存］を［ON］に設定します。さらに、ユーザー認証を行う場合は、［管理者設定］▶▶［ユーザー認証 / 部門管理］▶▶［ユーザー認証設定］▶▶［ユーザー登録］で、ユーザーごとに［機能制限］▶▶［外部メモリー保存］を［許可する］に設定する必要があります。
- 送り先に［印刷設定］または宛先が指定されている場合は、［外部メモリー］を選択できません。

6.3.6 送信トレイを確認する

送信トレイ

送り先を指定すると、送信トレイが表示されます。送信トレイには、指定した送り先がアイコンで表示されます。

No.	名称	説明
1	宛先確認アイコン	宛先確認アイコンを押すと、送信トレイ確認画面が表示され、指定した送り先の一覧を確認できます。
2	送り先アイコン	送り先のアイコンが表示されます。 送り先のアイコンを押すと、送信トレイ確認画面が表示され、送り先の詳細情報を確認できます。

［送信トレイ確認］

送信トレイのアイコンを押すと、送信トレイ確認画面が表示され、指定した送り先の一覧を確認できます。

E-mail 宛先を送り先に指定した場合は、メールの暗号化およびデジタル署名の添付の設定ができます。

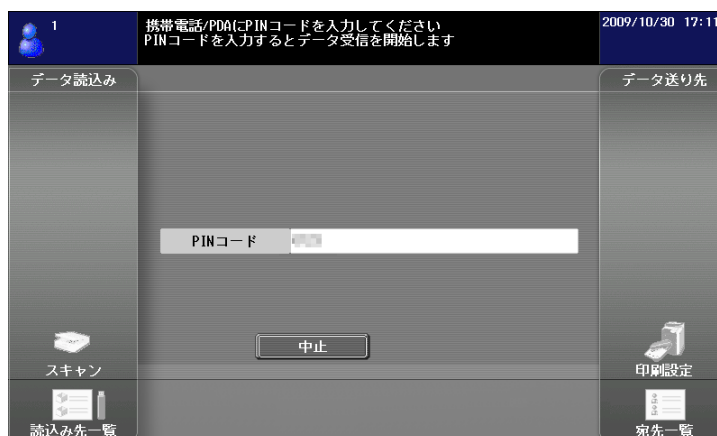
項目	説明
［宛先設定］	S/MIME によるメールの暗号化およびデジタル署名の添付を行うための設定を行います。 ［管理者設定］で［S/MIME 通信設定］を［使用する］に設定し、E-mail 宛先を選択している場合に設定できます。
［詳細］	宛先の詳細情報を確認します。
［削除］	選択した送り先を削除します。

参考

- E-mail 送信時に S/MIME によるメールの暗号化およびデジタル署名の添付を行うには、[管理者設定] ▸▸ [ネットワーク設定] ▸▸ [E-mail 設定] ▸▸ [S/MIME 通信設定] を [使用する] に設定する必要があります。
- E-mail を暗号化するには、E-mail 宛先に証明書が登録されている必要があります。
- E-mail にデジタル署名を添付するには、複合機にデバイス証明書が登録されている必要があります。また、[管理者設定] ▸▸ [ネットワーク設定] ▸▸ [E-mail 設定] ▸▸ [S/MIME 通信設定] ▸▸ [デジタル署名] を [常に署名する] または [送信時に選択する] に設定する必要があります。詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編] をごらんください。

6.3.7　携帯電話や PDA からデータを送信する

送り先を指定して**スタート**を押すと、**操作パネル**に PIN コードが表示されます。

携帯電話 /PDA で、利用するデータと送信先の複合機を指定した後、PIN コードを入力して、データを複合機に送信します。

参考

- 携帯電話や PDA に保存されているデータの送り先として指定できるのは、[印刷設定] またはボックスの一方のみです。また、送り先として指定できるボックスは 1 つのみです。ボックスへ保存する場合は、ボックスを作成した後、短縮宛先にボックスを登録しておく必要があります。
  - ボックスの作成のしかたについては、[ユーザーズガイド ボックス機能編] をごらんください。
  - 短縮宛先の登録のしかたについては、[ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編] をごらんください。
- 携帯電話 /PDA の操作については、携帯電話 /PDA のマニュアルをごらんください。
- 障害物や電波状況、磁場、静電気により、通信速度が遅くなったり、通信できなくなったりする場合があります。
- 携帯電話や PDA のセキュリティーにより保護された文書や画像データなどは、正常に送信できない場合があります。

6.4 アドレス帳に写真を登録する

コンピューターの Web ブラウザーから PageScope Web Connection を操作して、登録済みの短縮宛先に写真データを登録できます。

登録した写真は、イメージパネルの［宛先一覧］に反映されます。

参照
PageScope Web Connection について詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

6.4.1 写真データの仕様

登録できる写真データの仕様は、以下のとおりです。

項目	仕様
ファイル形式	24 Bit Color 非圧縮タイプの BMP 形式
画像サイズ	48 × 48 pixel
データサイズ	6,966 Byte

参考
- 登録時に写真データの拡大縮小は行いません。

6.4.2　写真を登録する

写真データの登録は、コンピューターの Web ブラウザーから PageScope Web Connection を操作して行います。

参考

- 写真データを登録するには、あらかじめ短縮宛先を登録する必要があります。
- My アドレス機能を使用できる場合は、My アドレス帳の短縮宛先に写真データを登録することができます。
- 登録ユーザーでログインした場合のみ My アドレス帳へ写真データを登録できます。

1　ユーザーモードまたは管理者モードでログインします。

2　［宛先登録］を選択します。

3　［写真 / アイコン］を選択します。

4　写真を登録したい短縮宛先を選択し、［編集］を押します。

➔ 写真が登録されている場合は、［写真 / アイコン］に［写真］と表示されます。

5　[写真を登録する] を選択します。

6　[参照] を押し、登録したい写真データの場所を指定します。

7　[OK] を押します。

短縮宛先に写真が登録されます。

6.5 イメージパネルをカスタマイズする

My パネル機能、My アドレス機能を使用できる場合は、イメージパネルの画面をユーザー専用にカスタマイズできます。

イメージパネルの画面をカスタマイズするには、以下の環境が必要です。

- 複合機で My パネル機能、My アドレス機能を使用できる。
- ユーザー認証を行い、登録ユーザーでログインする。

参照

My パネル機能について詳しくは、10-2 ページをごらんください。

My アドレス機能について詳しくは、11-2 ページをごらんください。

6.5.1 データ読込みエリアをカスタマイズする

データ読込みエリアに、頻繁に使用するボックスへのショートカットアイコンを登録できます。

1 ［データ読込み］で、［読込み先一覧］を押します。

2 ［基本画面登録 / 編集］を押します。

3 基本画面に登録したいボックスを選択し、データ読込みエリアで登録したい場所を選択します。

➔ 基本画面にすでに登録されている場所を選択した場合は上書きされます。

➔ 基本画面にすでに登録されているボックスを、基本画面の別の場所に登録することはできません。

4 ［OK］を押します。

ショートカットアイコンが登録されます。

6.5.2 データ送り先エリアをカスタマイズする

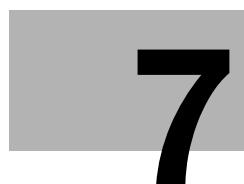
データ送り先エリアに、頻繁に使用する宛先へのショートカットアイコンを登録できます。

1 ［データ送り先］で、［宛先一覧］を押します。

2 ［基本画面登録 / 編集］を押します。

3 基本画面に登録したい宛先を選択し、データ送り先エリアで登録したい場所を選択します。

➔ 基本画面にすでに登録されている場所を選択した場合は上書きされます。

➔ 基本画面にすでに登録されている宛先を、基本画面の別の場所に登録することはできません。

4　［OK］を押します。

ショートカットアイコンが登録されます。

6.5.3　登録したショートカットアイコンを削除する

1　［基本画面登録 / 編集］を押します。

2　削除したいショートカットアイコンを選択します。

3　［削除］を押します。

4　［OK］を押します。

ショートカットアイコンが削除されます。

7 音声ガイド機能

7 音声ガイド機能

7.1 概要

目の不自由な方の操作の補助や誤操作の防止のために、音声によるガイドを利用できます。

音声ガイドでは、主に画面、キーおよびキーに関連する動作を説明する音声が流れます。

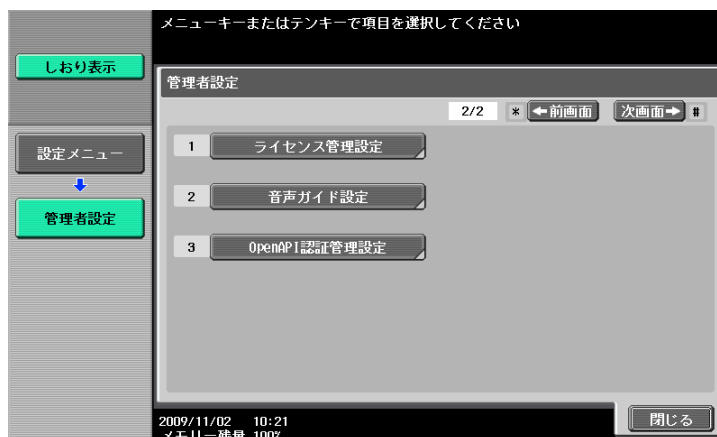
参考

- この機能は、i-Option LK-104 が登録されている複合機で使用できます。
- 音声ガイドを使用するには、複合機にオプションのローカル接続キットを装着する必要があります。

音声ガイドの対応画面

音声ガイドは、主に以下の画面で使用できます。

対応画面	説明
拡大表示画面	**操作パネル**で**拡大表示**を押したあとに表示される画面です。 音声ガイドを使用すると、拡大表示画面でコピー機能やファクス / スキャン機能を使用するときや、警告発生時および動作中などに、キーやキーに関連する動作、メッセージ、設定値などを読み上げる音声が流れます。
ユニバーサル設定画面	**操作パネル**で**ユニバーサル**を押したあとに表示される画面です。 音声ガイドを使用すると、ユニバーサル設定画面上のキーやキーに関連する動作、メッセージ、設定値などを読み上げる音声が流れます。 また、ユニバーサル設定画面では、音声ガイドの音量や音声速度の設定もできます。詳しくは、7-4 ページをごらんください。
ガイド画面	**操作パネル**で**ガイド**を押したあとに表示される画面です。 音声ガイドを使用すると、ガイド画面上のキーやキーに関連する動作、ガイドの内容を読み上げる音声が流れます。

参照

拡大表示機能について詳しくは、[ユーザーズガイド 拡大表示機能編] をごらんください。

ユニバーサル設定およびガイドの使い方について詳しくは、[ユーザーズガイド コピー機能編] をごらんください。

7.2 音声ガイド機能を有効にする

音声ガイド機能を使用するには、［管理者設定］で音声ガイド機能を有効にする必要があります。

1 **設定メニュー / カウンター**を押し、［設定メニュー］を表示します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

4 ［管理者設定］（2/2）で［音声ガイド設定］を押します。

5 ［音声ガイド］を選択し、［する］を選択します。

音声ガイド機能が有効になります。

7.3 音声ガイドの設定をする

音声ガイドの音量および音声速度を設定できます。

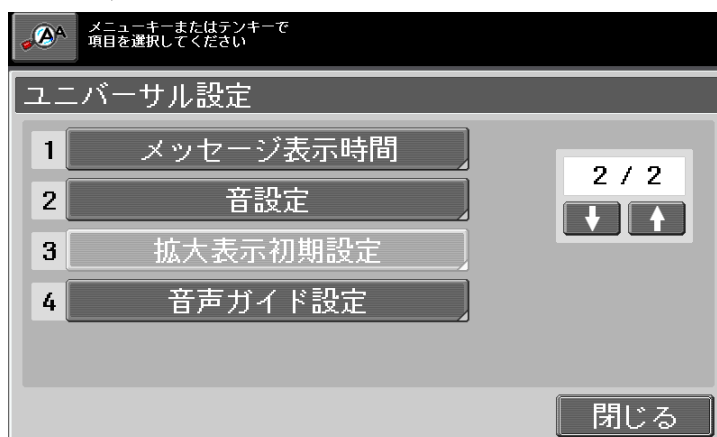
参照

音声ガイドの設定をするには、［管理者設定］で音声ガイド機能を有効にする必要があります。音声ガイド機能を有効にする方法について詳しくは、7-3 ページをごらんください。

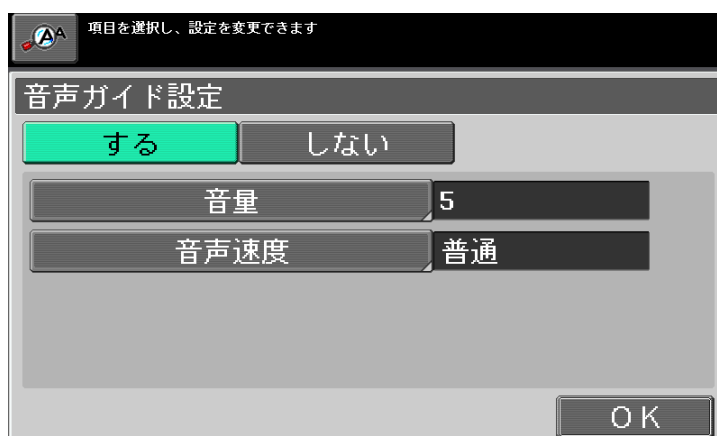
7.3.1 ［音声ガイド設定］を表示する

音声ガイドの設定は、［ユニバーサル設定］で行います。

1 **ユニバーサル**を押し、［ユニバーサル設定］を表示します。

2 ［ユニバーサル設定］（2/2）で［音声ガイド設定］を押します。

音声ガイド設定画面が表示されます。

7.3.2 ［音声ガイド設定］

音声ガイドの音量および音声速度を設定します。

項目	説明
［する］／［しない］	音声ガイドを使用するかどうか設定します。 ［しない］に設定すると、音声ガイドを使用できません。
［音量］	音声ガイドの音量を設定します。 ［大きく］を押すと、音量が 1 段階大きくなります。 ［小さく］を押すと、音量が 1 段階小さくなります。 音声ガイド使用中は、#、* を押すことで、いつでも音量を調整できます。
［音声速度］	音声ガイドの速度を設定します。 音声速度は、［速い］、［普通］、［遅い］の 3 段階で設定できます。

7.4 音声ガイドを開始および終了する

音声ガイドの開始、終了のしかたについて説明します。

7.4.1 音声ガイドを開始する

音声ガイドを開始する場合は、音声ガイド対応画面で**操作パネル**の**ガイド**を長押しします。

音声ガイドが始まると、音声ガイドを開始することを知らせる音声が流れ、画面上に音声カーソルが表示されます。

参考

- 音声ガイドは主に拡大表示、ユニバーサル設定、ガイドの各画面で利用できます。
- 音声ガイドに対応していない画面で**ガイド**を長押しした場合は、拡大表示画面へ誘導する音声が流れます。
- 音声ガイド使用中に音声ガイド非対応画面に移動した場合は、音声ガイド非対応画面であることを知らせる音声が流れます。
- 音声カーソルについて詳しくは、7-6 ページをごらんください。

7.4.2 音声ガイドを終了する

音声ガイドを終了する場合は、**操作パネル**の**ガイド**を長押しします。

参考

- ログインユーザーが音声ガイドを利用する場合は、複合機からログアウトすると音声ガイドを終了します。
- オートリセットまたはシステムオートリセット機能が働いた場合は、音声ガイドを終了します。
- **パワーセーブ**またはウィークリータイマー機能で、節電モード（スリープモード、低電力モード）へ移行した場合は、音声ガイドを終了します。
- 主電源または副電源を OFF にした場合は、音声ガイドを終了します。

7.5 音声ガイド使用中の操作について

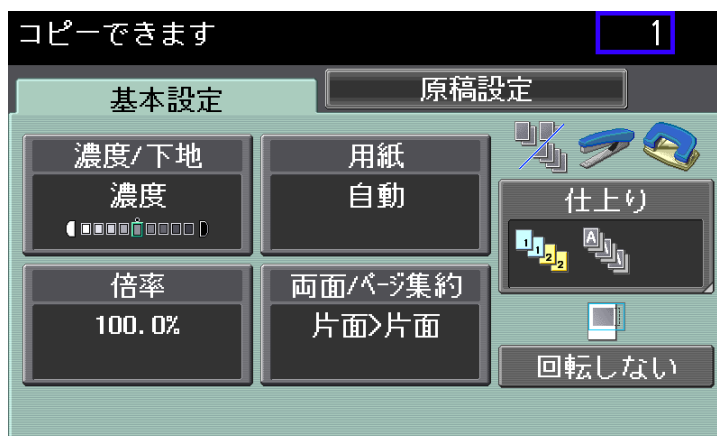
音声ガイド使用中の操作について説明します。

7.5.1 音声カーソル

音声ガイドを開始すると、音声ガイド対応画面で、音声を発声しているメニュー、キーおよび編集可能部分を一目で判別できるように音声カーソル（青枠）が表示されます。

また、テンキーによる操作で音声カーソルを移動して選択および決定を行うことができます。

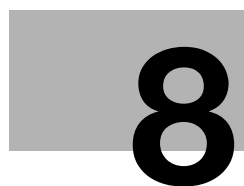
参考

- 音声ガイド非対応画面では、音声カーソルは表示されません。
- 音声カーソルは、**テンキー**の **4** または **6** で移動し、**5** で選択できます。

7.5.2 テンキーの操作

音声ガイド使用中にテンキーで様々な操作を行うことができます。

参考

- 表示中の画面によっては、使用できないキーがあります。使用できないキーを押した場合は、使用できないことを知らせる音声が流れます。

キー	動作
0	テンキーの動作の説明を読み上げます。
1	現在表示中の画面の説明を読み上げます。
2	拡大表示画面でコピー機能およびファクス / スキャン機能を表示している場合、現在表示している機能で設定できる項目を読み上げます。
3	現在流れている音声を中断します。
4	音声カーソルを左へ移動します。
5	音声カーソルの位置のキーを選択します。
6	音声カーソルを右へ移動します。
7	拡大表示画面でコピー機能およびファクス / スキャン機能を表示している場合、現在表示している機能で設定されている項目を読み上げます。
8	直前に読み上げた内容を再度読み上げます。
9	現在選択されているキーを読み上げます。
#	音量が 1 段階大きくなります。 音声ガイド使用中は、**#**、**＊**を押すことで、いつでも音量を調整できます。
＊	音量が 1 段階小さくなります。 音声ガイド使用中は、**#**、**＊**を押すことで、いつでも音量を調整できます。

8 PDF 処理機能

8 PDF 処理機能

8.1 概要

PDF 処理機能では、スキャン文書やボックス内の文書の配信時に、文書を暗号化したり、電子署名を追加したりなど、必要に応じてセキュリティーレベルを設定して配信できます。

参考

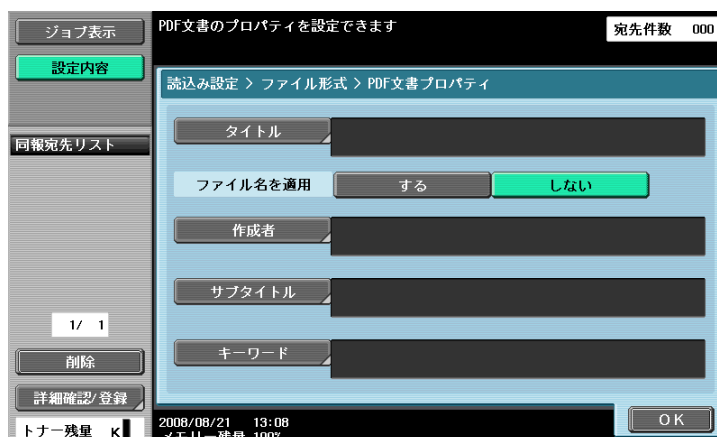
- この機能は、i-Option LK-102 または i-Option LK-103 v2 が登録されている複合機で使用できます。

PDF 処理機能でできること

PDF 処理機能では、以下のことができます。

- スキャン機能やボックス機能で、PDF 形式の文書を配信するとき、PDF 文書のプロパティを設定できます（p. 8-3）。
- スキャン機能やボックス機能で、PDF 形式の文書を配信するとき、PDF 文書をパスワードまたはデジタル ID（公開鍵）により暗号化できます（p. 8-4）。
- PDF 文書を暗号化して配信するとき、電子署名を追加できます（p. 8-4）。
- ダイレクトプリントで印刷するとき、AES で暗号化された PDF 文書を印刷できます（p. 8-7）。

参照

スキャン機能について詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編] をごらんください。

ボックス機能について詳しくは、[ユーザーズガイド ボックス機能編] をごらんください。

8.2 PDF 文書のプロパティ

文書をスキャンして配信するときや、ボックスに保存した文書を配信するときに、ファイル形式として［PDF］または［コンパクト PDF］を選択すると、PDF 文書のプロパティを設定できます。

参考

- ボックス機能の［文書保存］でボックスに文書を保存するときは、PDF 文書のプロパティを設定できません。
- PageScope Web Connection を使用して、ボックス内の文書を PDF 形式で他の機器へ送信するときにも、PDF 文書のプロパティを設定できます。

項目	説明
［タイトル］	［ファイル名を適用］で［しない］を選択した場合に、PDF 文書のタイトルを設定します（半角 64 文字、全角 32 文字以内）。
［ファイル名を適用］	ファイル名を PDF 文書のタイトルとして適用するかどうか設定します。
［作成者］	PDF 文書の作成者を設定します（半角 64 文字、全角 32 文字以内）。 ユーザー認証を行う場合は、ログイン名が作成者として設定されます。
［サブタイトル］	PDF 文書のサブタイトルを設定します（半角 64 文字、全角 32 文字以内）。
［キーワード］	PDF 文書のキーワードを設定します（半角 64 文字、全角 32 文字以内）。

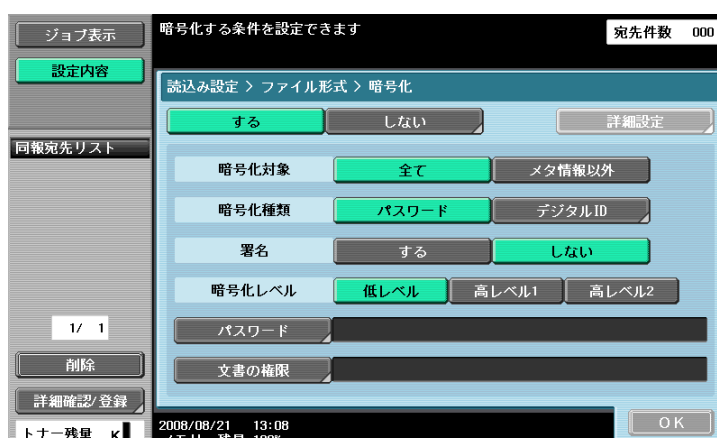
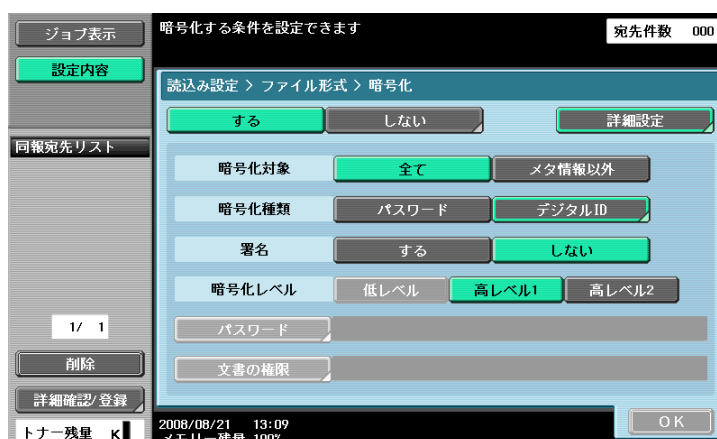
8.3 PDF 文書の暗号化と電子署名の追加

文書をスキャンして配信するときや、ボックスに保存した文書を配信するときに、ファイル形式として［PDF］または［コンパクト PDF］を選択すると、PDF 文書をパスワードまたはユーザーのデジタル ID（公開鍵）により暗号化してセキュリティーを強化できます。

また、複合機にデバイス証明書が登録されている場合は、PDF 文書に電子署名を追加して配信できます。電子署名を追加することで、送付した文書の作成者（複合機）を証明し、かつその文書が改変されていないことを保証できます。

参考

- PageScope Web Connection を使用して、ボックス内の文書を PDF 形式で他の機器へ送信するときにも、暗号化と電子署名の追加を設定できます。
- 電子署名を追加する場合は、パスワードまたはデジタル ID による PDF 文書の暗号化を行う必要があります。

8.3.1 パスワードで暗号化する場合

パスワードで暗号化する場合は、以下の設定を行います。

項目	説明
［暗号化対象］	暗号化する対象を設定します。 ［メタ情報以外］を選択すると、［PDF 文書のプロパティ］で設定した項目を暗号化対象から除外できます。 ［メタ情報以外］を選択した場合は、暗号化レベルの［低レベル］は選択できません。
［暗号化種類］	［パスワード］を選択します。
［署名］	複合機にデバイス証明書が登録されている場合に、電子署名を追加するかどうかを設定します。 複合機にデバイス証明書を登録する方法について詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。
［暗号化レベル］	暗号化レベルを設定します。 ・［低レベル］：RC4 暗号化方式（鍵長 40 bit）、Acrobat 3.0 以降で対応 ・［高レベル 1］：RC4 暗号化方式（鍵長 128 bit）、Acrobat 5.0 以降で対応 ・［高レベル 2］：AES 暗号化方式（鍵長 128 bit）、Acrobat 7.0 以降で対応
［パスワード］	PDF 文書を開くときに必要なパスワードを入力します。 確認のためパスワードを 2 度入力します。
［文書の権限］	文書の権限を変更するために必要なパスワードを入力します。確認のためパスワードを 2 度入力します。［パスワード］で設定したパスワードと同じパスワードは設定できません。 文書の権限を設定した場合は、［詳細設定］を押すと権限の詳細を設定できます。暗号化レベルによって設定値が変わります。

［詳細設定］

項目	説明
［印刷許可レベル］	PDF 文書の印刷を許可するかどうかを設定します。 暗号化レベルを［高レベル 1］または［高レベル 2］に設定した場合は、［低解像度のみ許可］を設定できます。
［文書と画像の抽出］	文書（テキスト）や画像の抽出を許可するかどうかを設定します。
［変更許可レベル］	PDF 文書の変更に関する許可レベルを設定します。 ・［ページの挿入 / 削除 / 回転］を選択すると、ユーザーはページの挿入、削除、回転ができます。この設定は、高レベルの暗号化を行う場合に設定できます。 ・［フォームフィールドの入力と既存の署名フィールドに署名］を選択すると、ユーザーはフォームへの入力とデジタル署名の追加ができます。この設定は、高レベルの暗号化を行う場合に設定できます。 ・［注釈の作成、フォームフィールドの入力および既存の署名フィールドに署名］を選択すると、ユーザーは注釈の追加、フォームへの入力およびデジタル署名の追加ができます。 ・［ページレイアウト、フォームフィールドの入力および既存の署名フィールドに署名］を選択すると、ユーザーはページの挿入、削除、回転、フォームへの入力およびデジタル署名の追加ができます。この設定は、低レベルの暗号化を行う場合に設定できます。 ・［ページ抽出を除く文書変更］を選択すると、ユーザーは文書の編集、フォームフィールドの作成と入力、注釈の追加およびデジタル署名の追加ができます。

8.3.2 デジタル ID で暗号化する場合

ユーザーのデジタル ID で暗号化する場合は、以下の設定を行います。

項目	説明
［暗号化対象］	暗号化する対象を設定します。 ［メタ情報以外］を選択すると、［PDF 文書のプロパティ］で設定した項目を暗号化対象から除外できます。
［暗号化種類］	［デジタル ID］を選択します。 ［デジタル ID］を選択すると、宛先の選択画面が表示されます。宛先の選択画面では、デジタル ID が登録された S/MIME 送信用の E-mail 宛先の一覧が表示され、E-mail 宛先を選択することにより暗号化に使用するデジタル ID を指定します。 宛先の選択画面で、［宛先と同じ］を選択すると、宛先のデジタル ID を使用するため、ここでデジタル ID を指定する必要はありません。 デジタル ID の指定は、宛先の指定とは独立して行うため、別途宛先を指定する必要があります。
［署名］	複合機にデバイス証明書が登録されている場合に、電子署名を追加するかどうかを設定します。 複合機にデバイス証明書を登録する方法について詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

項目	説明
［暗号化レベル］	暗号化レベルを設定します。デジタル ID で暗号化する場合は、暗号化レベルの［低レベル］は選択できません。 ・［高レベル 1］：RC4 暗号化方式（鍵長 128 bit）、Acrobat 5.0 以降で対応 ・［高レベル 2］：AES 暗号化方式（鍵長 128 bit）、Acrobat 7.0 以降で対応

［詳細設定］

項目	説明
［印刷許可レベル］	PDF 文書の印刷を許可するかどうかを設定します。
［文書と画像の抽出］	文書（テキスト）や画像の抽出を許可するかどうかを設定します。
［変更許可レベル］	PDF 文書の変更に関する許可レベルを設定します。 ・［ページの挿入 / 削除 / 回転］を選択すると、ユーザーはページの挿入、削除、回転ができます。この設定は、高レベルの暗号化を行う場合に設定できます。 ・［フォームフィールドの入力と既存の署名フィールドに署名］を選択すると、ユーザーはフォームへの入力とデジタル署名の追加ができます。この設定は、高レベルの暗号化を行う場合に設定できます。 ・［注釈の作成、フォームフィールドの入力および既存の署名フィールドに署名］を選択すると、ユーザーは注釈の追加、フォームへの入力およびデジタル署名の追加ができます。 ・［ページ抽出を除く文書変更］を選択すると、ユーザーは文書の編集、フォームフィールドの作成と入力、注釈の追加およびデジタル署名の追加ができます。

参考

- デジタル ID で暗号化するには、あらかじめ E-mail 宛先にユーザーの証明書を登録する必要があります。E-mail 宛先にユーザーの証明書を登録する方法について詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。
- デジタル ID は最大で 100 件まで指定できます。
- 指定できるデジタル ID は、ユーザーの参照許可レベルによって決まります。
- ボックスに文書を保存するときは、PDF 文書をデジタル ID で暗号化できません。
- PDF の暗号化とサーチャブル PDF の作成を同時に行なう場合、サーチャブル PDF の設定で［回転補正］を［補正する］に設定すると、以下の設定ができません。初期設定では、［回転補正］は［補正する］に設定されているため、必要に応じて設定を変更してください。

- ［暗号化種類］：［デジタル ID］
- ［暗号化レベル］：［高レベル 2］
- ［暗号化対象］：［メタ情報以外］
- ［署名］：［する］

- サーチャブル PDF 機能について詳しくは、9-2 ページをごらんください。

8.4 ダイレクトプリント

ダイレクトプリントで印刷するとき、AES で暗号化された PDF 文書を印刷できます。

ダイレクトプリントは PageScope Web Connection で行います。パブリックユーザーまたは登録ユーザーとしてログインし、[ダイレクトプリント] を選択します。

[参照] をクリックしてファイルを指定し、[OK] をクリックします。

参照

PageScope Web Connection について詳しくは、[ユーザーズガイド プリンター機能編] をごらんください。

9 サーチャブル PDF 機能

9 サーチャブル PDF 機能

9.1 概要

サーチャブル PDF とは、OCR 処理により文字として認識した部分に透明なテキストデータを貼付け、テキスト検索可能な PDF を作成する機能です。

スキャン機能やボックス機能を使用して、原稿を PDF またはコンパクト PDF 形式で保存したり送信したりするときに、サーチャブル PDF を作成できます。サーチャブル PDF 機能では、複数の言語のサーチャブル PDF を作成できます。サーチャブル PDF を作成するときには、原稿に合わせて言語を選択することで、正しく OCR 処理できます。また、ページの向きを自動で補正することで、OCR 処理の精度を向上させることができます。

紙文書を電子化して管理したい場合などは、サーチャブル PDF 機能を使用してテキスト検索可能な PDF に変換して保存しておくと便利です。

参考

- この機能は、i-Option LK-105 が登録されている複合機で使用できます。
- スキャン機能について詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編]をごらんください。
- ボックス機能について詳しくは、[ユーザーズガイド ボックス機能編]をごらんください。

サーチャブル PDF 作成時の注意事項

原稿の状態によっては、文字が正しく認識されずに、文字化けなどが発生する場合があります。

例

- 複合機で対応していない文字は、正しく認識されません。
- サーチャブル PDF を作成するときに、原稿の言語と異なる言語を選択すると、文字が正しく認識されません。
- 自動でページの向きを補正しない場合は、指定した原稿の向きと文字の向きが異なると、文字が正しく認識されません。

参照

ページの向きを自動で補正するための設定については、9-4 ページをごらんください。

認識可能な文字サイズ

		日本語	欧米言語	アジア言語
解像度	200 dpi	12 pt ~ 142 pt	9 pt ~ 142 pt	20 pt ~ 142 pt
	300 dpi	8 pt ~ 96 pt	6 pt ~ 96 pt	12 pt ~ 96 pt

参考

- サーチャブル PDF を作成する場合は、300 dpi を超える解像度で読込みできません。

9.2 OCR の動作を設定する

サーチャブル PDF を作成する前に、OCR 処理の精度を優先させるか、OCR 処理の速度を優先させるかを設定できます。

［OCR 動作設定］

1 **設定メニュー / カウンター**を押します。

2 ［ユーザー設定］を押します。

3 ［ファクス / スキャン設定］を押します。

4 ［ファクス / スキャン設定］（2/2）で、［OCR 動作設定］を押します。

5 OCR の動作を選択し、［OK］を押します。

➔ ［精度優先］：原稿の文字の認識率が優先されます。また、原稿の傾きが自動的に補正されます。

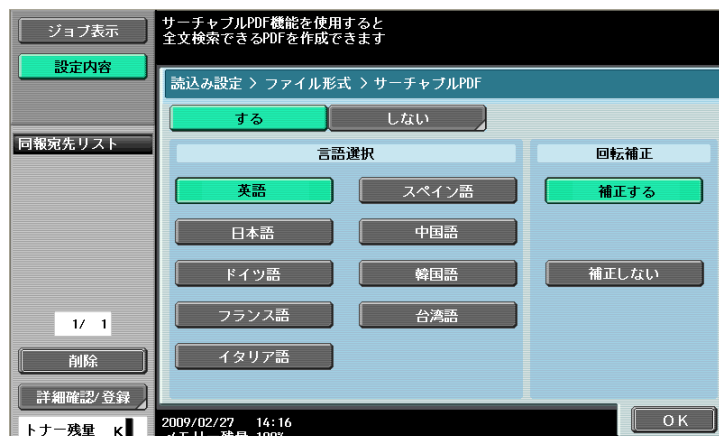
➔ ［速度優先］：OCR 処理の速度が優先されます。原稿の傾きは補正されません。

9.3 サーチャブル PDF の設定をする

スキャン機能やボックス機能を使用して、原稿を保存したり送信したりするときに、ファイル形式として［PDF］または［コンパクト PDF］を選択すると、サーチャブル PDF を作成できます。

参照

スキャン機能を使用するときのファイル形式の設定について詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。

ボックス機能を使用するときのファイル形式の設定について詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

項目	説明
［言語選択］	サーチャブル PDF を作成するときに使用する言語を選択します。 原稿に合わせて適切な言語を選択しないと、文字が正しく認識されません。
［回転補正］	OCR 処理により検出した文字の向きに合わせて、ページごとに自動で回転補正を行うかどうかを設定します。 回転補正を行わない場合は、指定した原稿の向きが文字の向きと異なると、文字が正しく認識されません。

参考

- ［ファイル形式］で［コンパクト PDF］を選択してサーチャブル PDF を作成すると、［PDF］を選択してサーチャブル PDF を作成するときよりも、OCR 処理の速度が向上する場合があります。
- サーチャブル PDF を作成する場合は、［解像度］を［400 × 400dpi（高精細）］または［600 × 600dpi（超高精細）］に設定できません。
- サーチャブル PDF の作成と PDF の暗号化を同時に行なう場合、PDF の暗号化の設定で以下のいずれかの設定をすると、［回転補正］を［補正する］に設定できません。
  - ［暗号化種類］：［デジタル ID］
  - ［暗号化レベル］：［高レベル 2］
  - ［暗号化対象］：［メタ情報以外］
  - ［署名］：［する］
- PDF の暗号化について詳しくは、8-4 ページをごらんください。
- ［日本語］、［中国語］、［韓国語］、［台湾語］の場合、文字の縦書きと横書きが自動的に認識されます。ただし、［中国語］、［韓国語］、［台湾語］の場合、ページ内に文字の縦書きと横書きが混在すると、どちらか一方の向きで処理されます。
- サーチャブル PDF の設定をしてボックスに保存した文書を、PageScope Web Connection からダウンロードや送信をすると、サーチャブル PDF の設定が解除されてしまい、テキスト検索ができなくなります。

10 My パネル機能

10　My パネル機能

10.1　概要

My パネル機能とは、ユーザーが用途に応じてカスタマイズした**操作パネル**の環境（My パネル）をサーバーで一元管理し、ユーザーが選択した複合機で My パネルを取得して使用できる機能です。

My パネルを使用することで、ネットワーク環境にある複数の複合機で、同一の操作性を実現できます。

参照

この機能は、PageScope My Panel Manager と連携させて使用します。機能を有効化する方法について詳しくは、PageScope My Panel Manager のマニュアルをごらんください。

My パネルの設定は、PageScope My Panel Manager でもできます。詳しくは、PageScope My Panel Manager のマニュアルをごらんください。

10.1.1　My パネルでできること

My パネルを使用すれば、よく使う機能が優先的に表示されるように、**操作パネル**を自分専用にカスタマイズできます。

また、Web ブラウザーやイメージパネルを使用できる場合は、PageScope My Panel Manager と連携させることで、ユーザーごとに Web ブラウザーの設定や情報を管理したり、イメージパネルの画面をカスタマイズしたりすることもできます。

カスタマイズできる項目

My パネルでは、以下のカスタマイズができます。

- **操作パネル**で表示する言語の設定
- 数値入力時などに表示される単位系の設定
- コピー機能の基本画面の初期表示の設定と、基本画面に配置するショートカットキーや設定値のキーの登録
- ファクス / スキャン機能の基本画面の初期表示の設定とショートカットキーの登録
- ボックス機能の基本画面の初期表示の設定とショートカットキーの登録
- **操作パネル**のキーの選択色の設定
- My パネルのトップメニューの表示
- **操作パネル**の初期画面の表示

Web ブラウザーと連携させてできること

Web ブラウザーと My パネルを連携させることで、自分専用の Web ブラウザーの使用環境を持つことができます。My パネルでは、以下の設定や情報をユーザーごとに管理できます。

- ホームページ
- ブックマーク
- コンテンツの表示履歴
- URL の入力履歴
- Cookie
- 認証情報

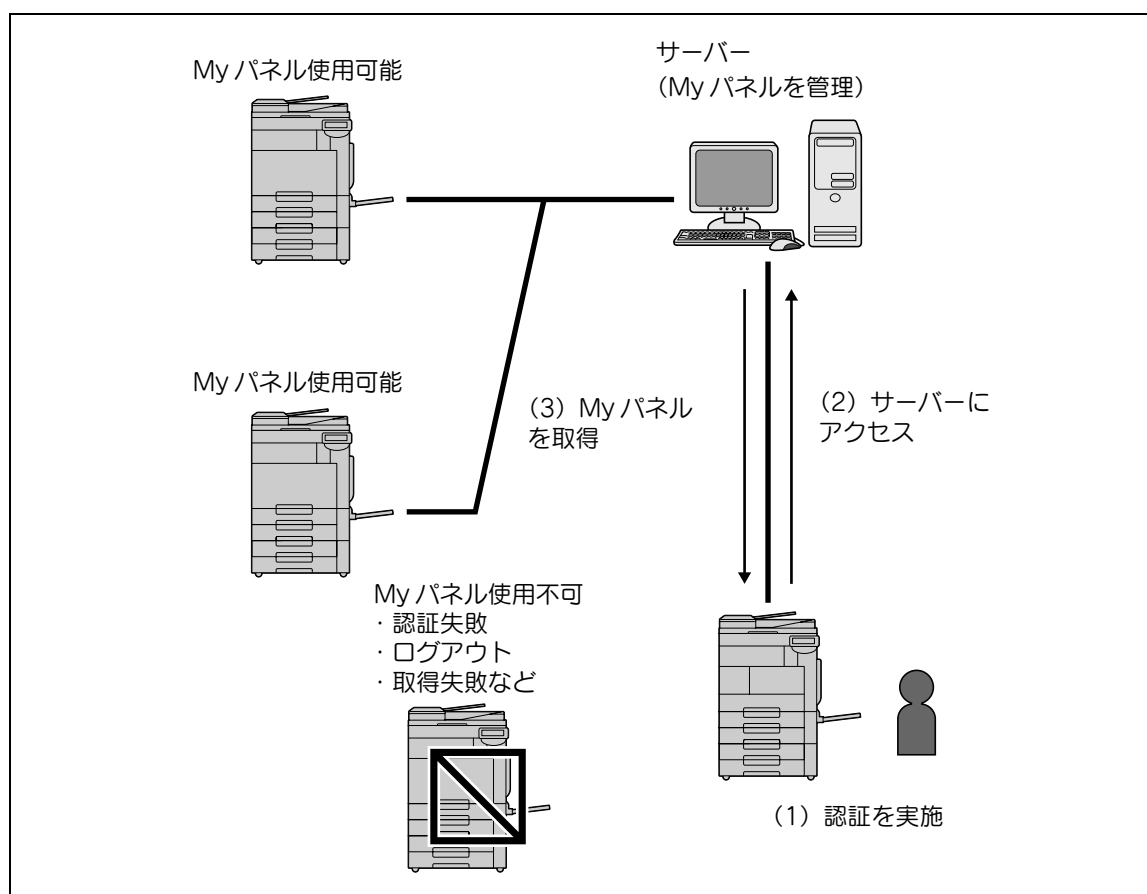
参照

ホームページやブックマークは Web ブラウザーから登録します。また、表示履歴、入力履歴、Cookie、認証情報は、ユーザーが Web ブラウザーを使用することでサーバーに反映されます。Web ブラウザーの使い方について詳しくは、4-2 ページをごらんください。

ホームページやブックマークの登録情報は、PageScope My Panel Manager から編集できます。詳しくは、PageScope My Panel Manager のマニュアルをごらんください。

イメージパネルと連携させてできること

イメージパネルと My パネル、My アドレスを連携させることで、イメージパネルの基本画面に、データの読込み先や送り先へのショートカットを登録して、自分専用のイメージパネルの使用環境を持つことができます。また、データの送り先を指定するときに My アドレスを参照できます。

参照

イメージパネルの画面のカスタマイズのしかたについて詳しくは、6-21 ページをごらんください。

My アドレスについて詳しくは、11-2 ページをごらんください。

10.1.2 My パネル取得の流れ

選択した複合機でユーザー認証を行います。ユーザー認証に成功すると、複合機は自動的にサーバーにアクセスし、ログインしたユーザーの My パネルを取得します。

ユーザーは、複合機にログインしている間、My パネルを利用できます。ユーザーがログアウトした時点で、My パネルを利用できなくなります。

10.1.3 My パネル機能使用時の制限事項

My パネルには、以下の制限があります。

- My パネルは、My パネルを所持するユーザー本人のみが登録、編集、削除できます。複合機の管理者は、My パネルを操作できません。
- My パネルをはじめて使用する場合は、言語、単位系および選択色の設定は、複合機の設定に準じます。
- My パネルをはじめて使用する場合は、初期画面に My パネルのトップメニューが表示されます。
- 設定メモリー（コピープログラム、ファクス / スキャンプログラム）は、使用する複合機で登録されている設定メモリーのみ使用できます。
- My パネルを使用する複合機の機能やオプションの装着状態により、My パネルとして設定した操作環境を使用できない場合があります。
- My パネルを登録、編集、削除する場合は、サーバーとの接続状態によってエラーが発生することがあります。エラーが発生した場合は、ネットワークの接続を確認してください。

10.2　My パネルを表示する

10.2.1　トップメニュー

トップメニューは、My パネルを表示するときに最初に表示される画面です。

頻繁に使用する機能や設定メモリーへのショートカットキーをトップメニューに自由に配置できます。
トップメニューには、12 種類のショートカットキーを登録できます。

トップメニューの設定方法について詳しくは、10-12 ページをごらんください。

10.2.2　トップメニューを表示する

My パネル機能を使用する場合は、ユーザー認証後に表示する初期画面を変更できます。別の初期画面から My パネルのトップメニューを表示したい場合は、［アプリケーションメニュー］から表示します。

［アプリケーションメニュー］で［My パネル］を押すと、My パネルのトップメニューが表示されます。

参照

認証後の初期画面は、［My パネル設定］で変更できます。詳しくは、10-13 ページをごらんください。

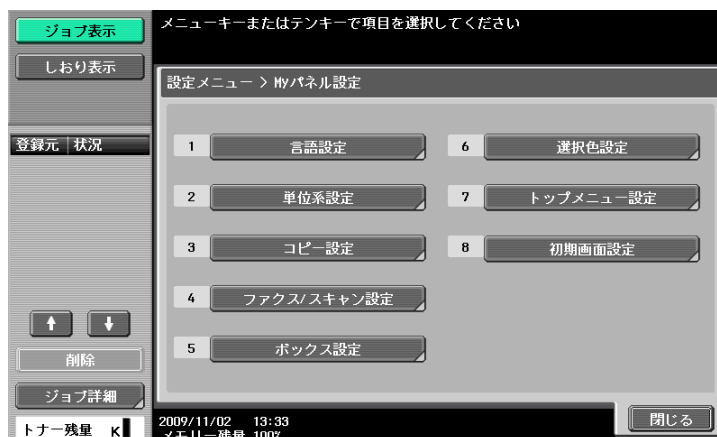
［アプリケーションメニュー］について詳しくは、3-3 ページをごらんください。

10.3　My パネルをカスタマイズする

My パネルのカスタマイズは、［設定メニュー］の［My パネル設定］で行います。

10.3.1 ［My パネル設定］

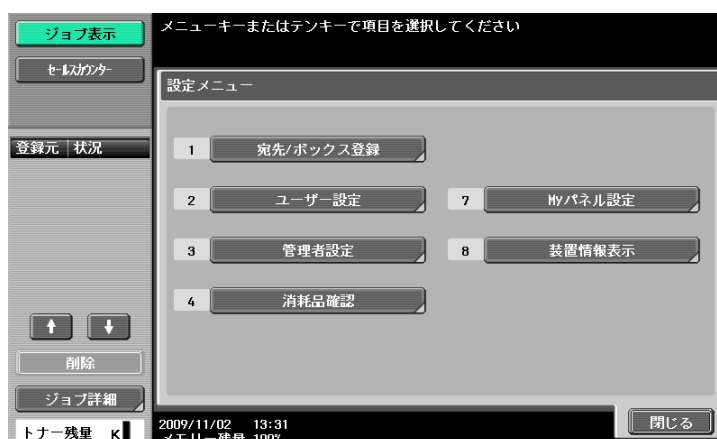
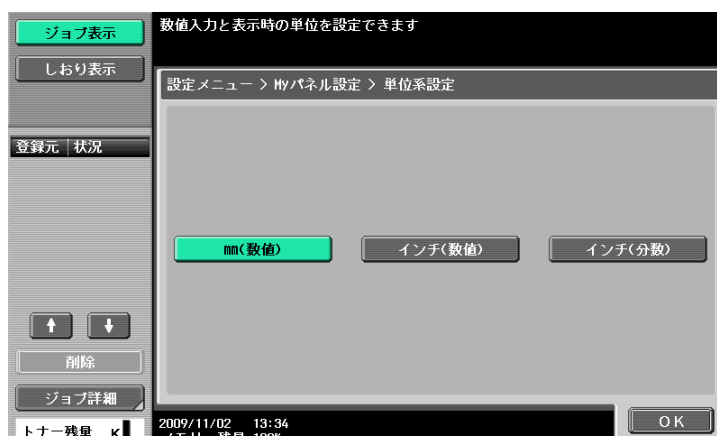
カスタマイズできる項目は、以下のとおりです。

項目	説明
［言語設定］	My パネルで使用する言語を設定できます。 詳しくは、10-6 ページをごらんください。
［単位系設定］	My パネルに表示される数値の単位を設定できます。 詳しくは、10-6 ページをごらんください。
［コピー設定］	コピー機能の基本画面の初期表示の設定と、基本画面に配置するショートカットキーや設定値のキーの登録ができます。 詳しくは、10-7 ページをごらんください。
［ファクス / スキャン設定］	ファクス / スキャン機能の基本画面の初期表示の設定と、ショートカットキーの登録ができます。 詳しくは、10-9 ページをごらんください。
［ボックス設定］	ボックス機能の基本画面の初期表示の設定と、ショートカットキーの登録ができます。 詳しくは、10-11 ページをごらんください。
［選択色設定］	My パネルのキーの選択色を設定できます。 詳しくは、10-12 ページをごらんください。
［トップメニュー設定］	My パネルのトップメニュー画面にトップメニューキーを登録できます。 詳しくは、10-12 ページをごらんください。
［初期画面設定］	ユーザー認証後に表示する初期画面を設定できます。 詳しくは、10-13 ページをごらんください。

10.3.2 ［My パネル設定］を表示する

My パネル機能を使用できる場合は、［設定メニュー］に［My パネル設定］が表示されます。

1　登録ユーザーでログインします。

2　**設定メニュー / カウンター**を押します。

3　［My パネル設定］を押します。

My パネル設定画面が表示されます。

10.3.3 ［言語設定］

複合機で使用できる言語の中から、My パネルで使用する言語を設定します。

10.3.4 ［単位系設定］

My パネルで使用する長さの単位を設定します。

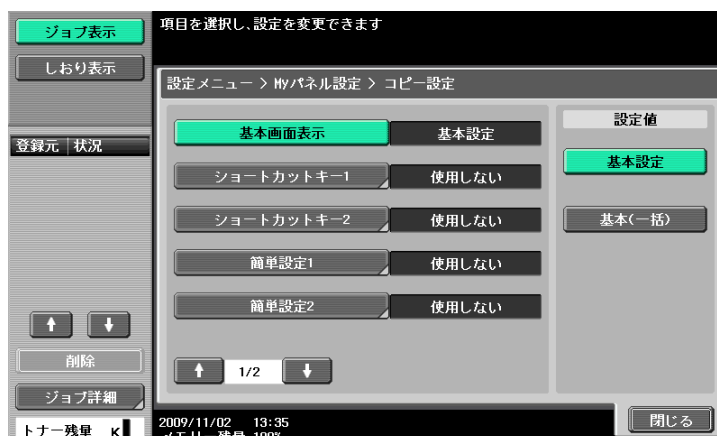
10.3.5　［コピー設定］

コピー機能の基本画面の初期表示の設定と、基本画面に配置するショートカットキーや設定値のキーの登録を行います。

［基本画面表示］

コピー機能の基本画面の初期表示を設定します。

［基本設定］は、通常の基本表示です。

［基本（一括）］は、基本設定画面の設定項目が 1 画面に表示されます。複数の設定をする場合に便利です。

［ショートカットキー 1］-［ショートカットキー 2］

頻繁に使用するコピー応用機能へのショートカットキーを基本画面に配置します。

ショートカットキーは 2 つまで配置できます。

他の機種にログインし、［ショートカットキー 1］、［ショートカットキー 2］に機能を登録しても、その機能が本機で使用できない場合は、本機では［使用しない］と表示されます。（例：［濃度］［下地調整］）

また、その状態で［ショートカットキー 1］、［ショートカットキー 2］に機能を登録する画面を表示すると、［使用しない］が選択されています。そのまま［OK］を選択すると、［ショートカットキー 1］、［ショートカットキー 2］に［使用しない］が登録されます。

その結果、他の機種にログインしても、ショートカットキーが表示されません。

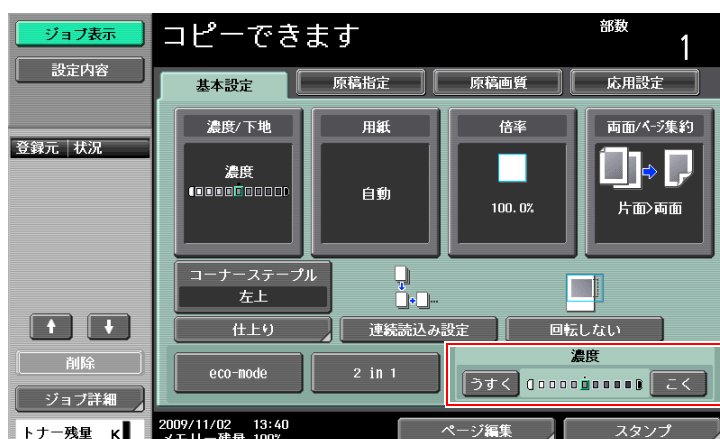
［簡単設定 1］-［簡単設定 4］

コピー機能の設定値やコピープログラムのキーを基本画面に配置します。

頻繁に使用する設定値やコピープログラムのキーを基本画面に配置しておくことで、文書をコピーするときに、キーを押すだけで簡単にコピーの設定を行うことができます。キーは 4 つまで配置できます。

他の機種にログインし、［簡単設定 1］－［簡単設定 4］に機能を登録しても、その機能が本機で使用できない場合は、本機では［使用しない］と表示されます。（例：［カラー］）

また、その状態で［簡単設定 1］－［簡単設定 4］に機能を登録する画面を表示すると、［使用しない］が選択されています。そのまま［OK］を選択すると、［簡単設定 1］－［簡単設定 4］に［使用しない］が登録されます。

その結果、他の機種にログインしても、簡単設定キーが表示されません。

参照

コピープログラムを基本画面に配置するには、あらかじめコピープログラムを登録しておく必要があります。コピープログラムの登録方法について詳しくは、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

［基本画面濃度表示］

コピーの濃度調整キーを基本画面に配置します。

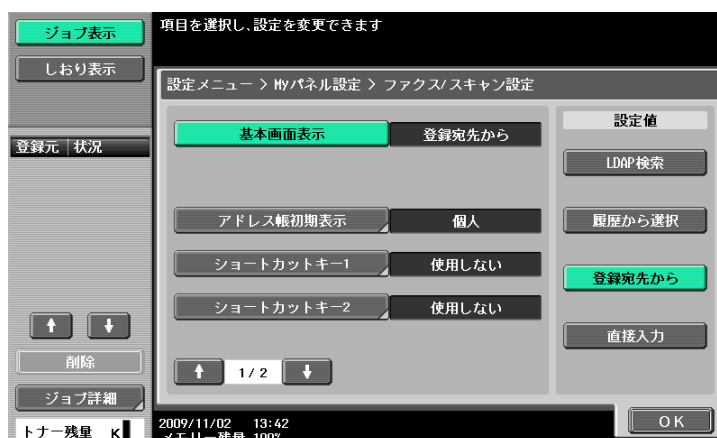
参考

- 基本画面に濃度調整キーを配置する場合は、［簡単設定 3］、［簡単設定 4］を設定できません。

10.3.6 ［ファクス / スキャン設定］

ファクス / スキャン機能の基本画面の初期表示の設定と、ショートカットキーの登録を行います。

［基本画面表示］

ファクス / スキャン機能の基本画面の初期表示を設定します。

［アドレス帳初期表示］

共有アドレス帳を使用する場合は、［登録宛先から］に初期表示する検索文字の種類を設定します。
初期設定では、［個人（My アドレス帳）］が選択されています。

参照
My アドレス機能について詳しくは、11-2 ページをごらんください。

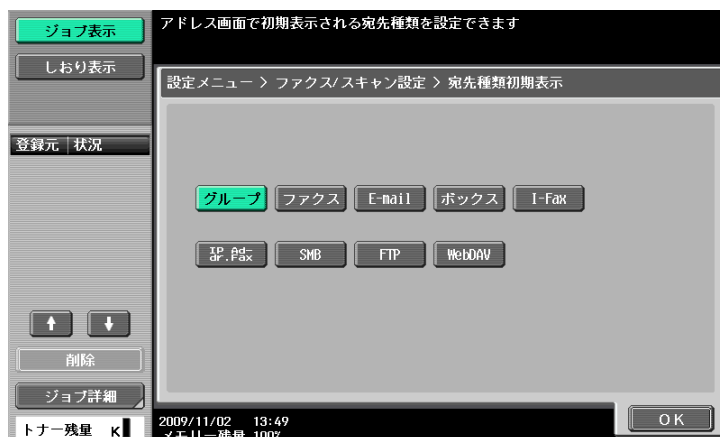
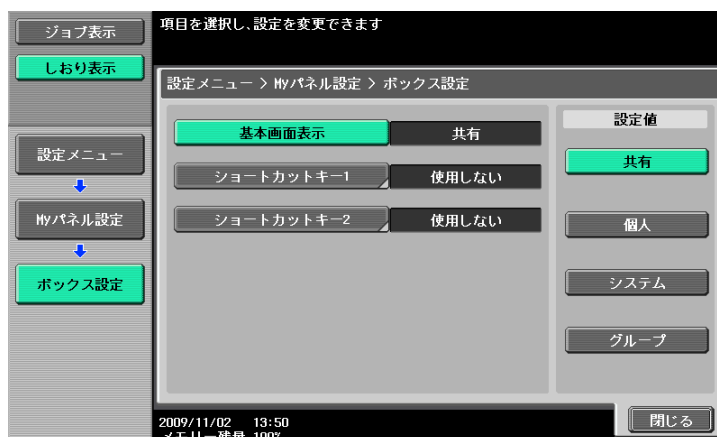
［ショートカットキー 1］-［ショートカットキー 2］

頻繁に使用するファクス / スキャンの応用機能へのショートカットキーを基本画面に配置します。ショートカットキーは 2 つまで配置できます。

［「登録宛先から」初期表示］

［登録宛先から］の初期表示を設定します。

［宛先種類初期表示］

宛先種類別にアドレス帳を表示するときに、初期表示する宛先種類を設定します。

10.3.7 ［ボックス設定］

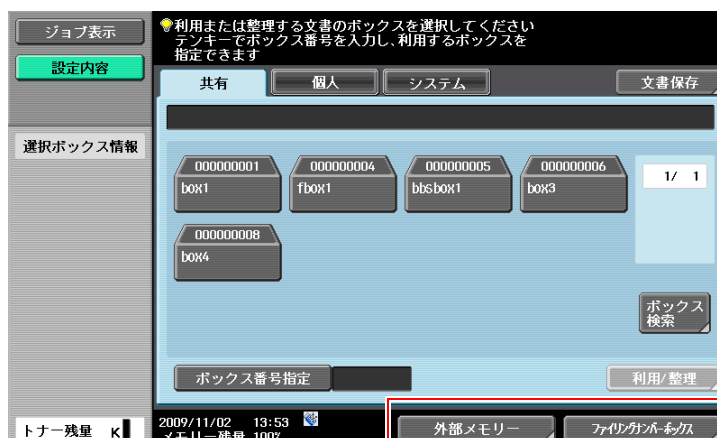
ボックス機能の基本画面の初期表示の設定と、ショートカットキーの登録を行います。

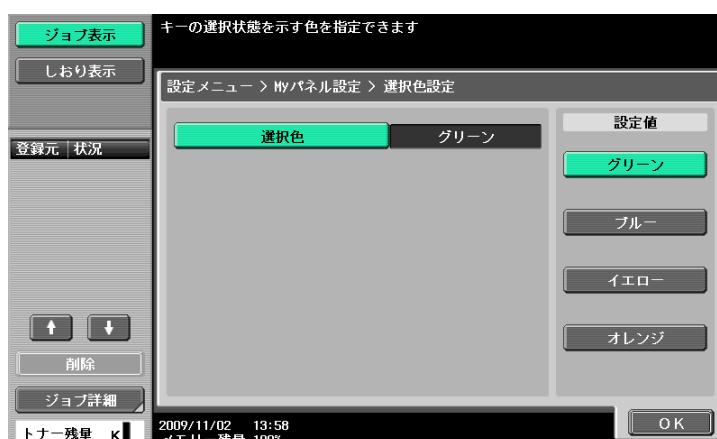
［基本画面表示］

ボックス機能の基本画面で（**操作パネルのボックス**を押したあとに）初期表示するボックスのタイプを設定します。

［ショートカットキー 1］-［ショートカットキー 2］

ボックスの文書利用で頻繁に使用するボックスへのショートカットキーを基本画面に配置します。

ショートカットキーは 2 つまで配置できます。

10.3.8 ［選択色設定］

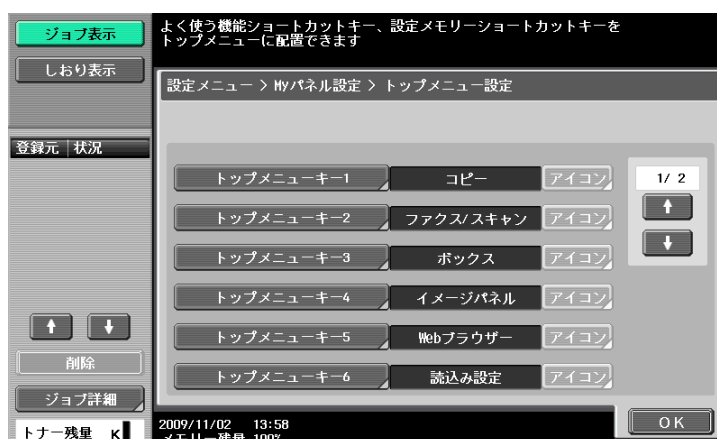
My パネルのキーを選択したときの選択色を設定します。

10.3.9 ［トップメニュー設定］

My パネルのトップメニューをカスタマイズします。

使用する機能や設定メモリー（コピープログラム、ファクス / スキャンプログラム）へのショートカットキーをトップメニューに自由に配置できます。

トップメニューキーについて

トップメニューに表示するショートカットキーをトップメニューキーと呼び、12 種類まで登録できます。

トップメニューキーとして設定メモリー（コピープログラム、ファクス / スキャンプログラム）を登録する場合は、［アイコン］を押すと、トップメニューに表示する設定メモリーのアイコンを選択できます。

トップメニューキーの登録

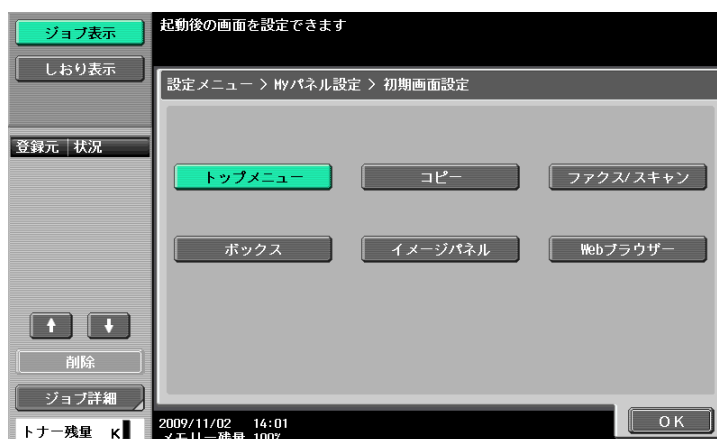
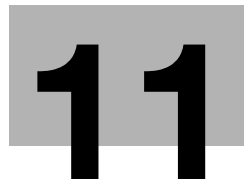
トップメニューキーとして、［機能］、［コピー機能設定］、［ファクス / スキャン機能設定］、［コピー設定メモリー］、［ファクス / スキャン設定メモリー］をそれぞれ割当てることができます。

項目	説明
［機能］	［コピー］、［ファクス / スキャン］、［ボックス］、［イメージパネル］、［Web ブラウザー］の各機能へのショートカットキーを登録できます。 Web ブラウザーおよびイメージパネルは、機能が有効な場合にトップメニューに登録できます。
［コピー機能設定］	［用紙設定］、［倍率設定］、［両面 / ページ集約］、［仕上り］の各コピー機能設定へのショートカットキーを登録できます。
［ファクス / スキャン機能設定］	［読込み設定］、［原稿設定］、［通信設定］の各ファクス / スキャン機能設定へのショートカットキーを登録できます。
［コピー設定メモリー］	複合機に登録されているコピー設定メモリー（コピープログラム）へのショートカットキーを登録できます。 トップメニュー設定画面で［アイコン］を押すと、トップメニューに表示する設定メモリーのアイコンを選択できます。 設定メモリーのショートカットキーは、設定メモリーが登録されている複合機でのみ使用できます。 コピー設定メモリー（コピープログラム）の登録方法について詳しくは、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
［ファクス / スキャン設定メモリー］	複合機に登録されているファクス / スキャン設定メモリー（ファクス / スキャンプログラム）へのショートカットキーを登録できます。 トップメニュー設定画面で［アイコン］を押すと、トップメニューに表示する設定メモリーのアイコンを選択できます。 設定メモリーのショートカットキーは、設定メモリーが登録されている複合機でのみ使用できます。 ファクス / スキャン設定メモリー（ファクス / スキャンプログラム）の登録方法について詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。

10.3.10 ［初期画面設定］

ユーザー認証後に表示する初期画面を設定します。初期設定では、My パネルのトップメニューが表示されます。

参考

- Web ブラウザーおよびイメージパネルは、機能が有効な場合に初期画面に設定できます。

11 My アドレス機能

11 My アドレス機能

11.1 概要

My アドレス機能とは、サーバーで個人専用のアドレス帳（My アドレス帳）を一元管理し、ユーザーが選択した複合機で My アドレス帳を取得して使用できる機能です。

My アドレス帳を使用することで、ネットワーク環境にある複数の複合機で個別に宛先の登録を行わなくても、同一のアドレス帳を参照できます。

参照

この機能は、PageScope My Panel Manager と連携させて使用します。機能を有効化する方法について詳しくは、PageScope My Panel Manager のマニュアルをごらんください。

My アドレスの登録は、PageScope My Panel Manager でもできます。詳しくは、PageScope My Panel Manager のマニュアルをごらんください。

11.1.1 アドレス帳の分類

My アドレス機能を使用できる場合は、以下の 2 種類のアドレス帳を利用できます。

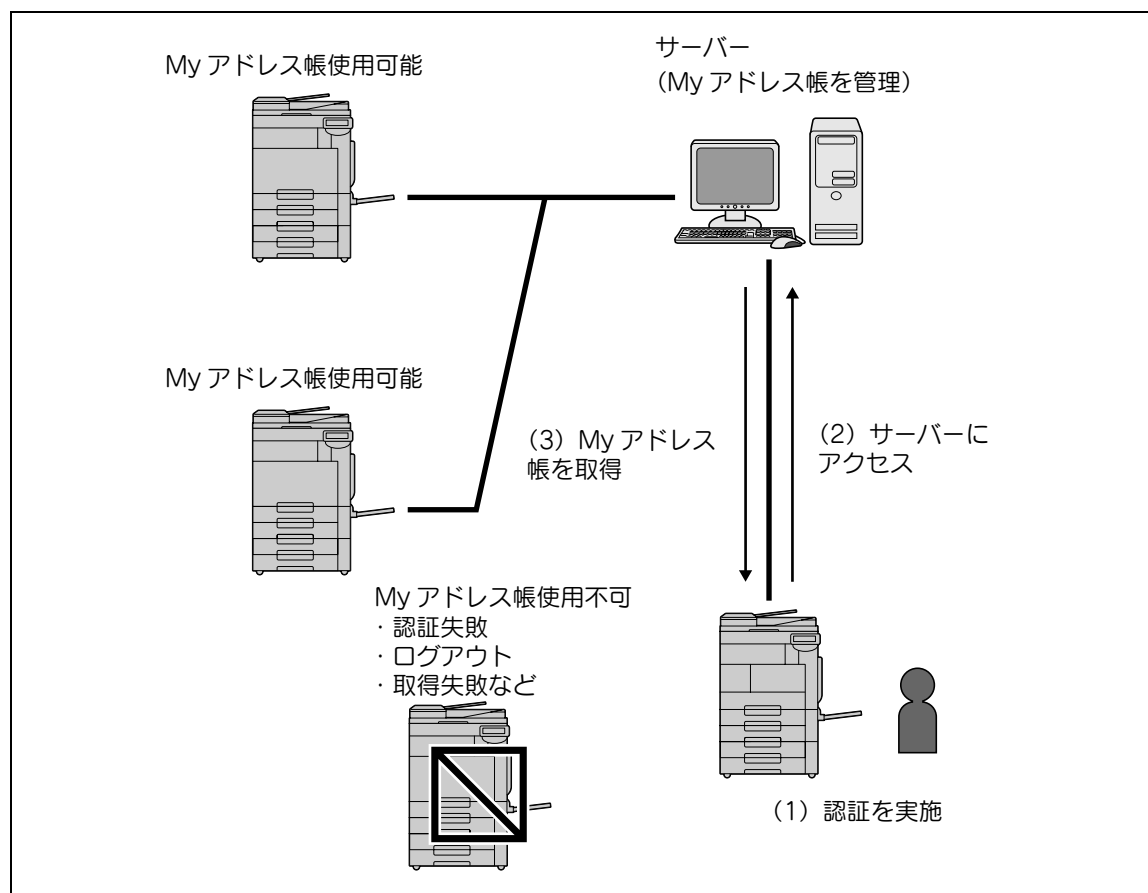
共有アドレス帳

共有アドレス帳とは、ユーザーが選択した複合機の本体に登録されている誰でも参照できるアドレス帳を指します。

共有アドレス帳には、以下の特徴があります。

- 共有アドレス帳には、短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先を登録できます。
- 複合機本体に登録されているため、使用できる宛先は選択した複合機によって決まります。
- ユーザーや管理者によって登録、編集、削除できます。
- 管理者によって、ユーザーによる宛先の登録や編集が禁止されている場合は、共有アドレス帳の登録や編集ができません。

My アドレス帳

My アドレス帳とは、サーバーで管理された、本人のみ参照できるアドレス帳を指します。

My アドレス帳には、以下の特徴があります。

- My アドレス帳には、短縮宛先とグループ宛先を登録できます。
- ユーザーが選択した複合機で、サーバーから取得して使用するため、My アドレス機能を使用できる複合機であればどれでも利用できます。
- ユーザー本人のみが登録、編集、削除できます。

11.1.2　My アドレス帳取得の流れ

選択した複合機でユーザー認証を行います。ユーザー認証に成功すると、複合機は自動的にサーバーにアクセスし、ログインしたユーザーの My アドレス帳を取得します。

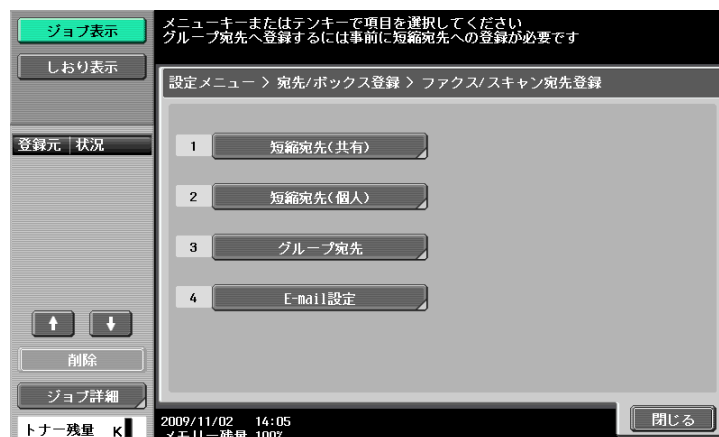
ユーザーは、複合機にログインしている間、My アドレス帳を利用できます。ユーザーがログアウトした時点で、My アドレス帳が利用できなくなります。

11.1.3　My アドレス機能使用時の制限事項

My アドレス帳には、以下の制限があります。

- My アドレス帳は、My アドレス帳を所持するユーザー本人のみが登録、編集、削除できます。複合機の管理者は、My アドレス帳を操作できません。
- My アドレス帳には、短縮宛先を最大 100 件、グループ宛先を最大 10 グループ（1 グループあたり短縮宛先を最大 100 件まで）登録できます。
- My アドレス帳の登録数が最大値を超える場合は、新しく宛先を登録できません。
- My アドレス帳にプログラム宛先を登録できません。
- My アドレス帳では、検索文字で宛先を検索できません。
- ボックス宛先は、宛先を登録した複合機でのみ利用できます。
- My アドレス帳を使用する複合機の設定やオプションの装着状態により、登録宛先で指定した送信ができない場合があります。
- My アドレス帳を登録、編集、削除する場合は、サーバーとの接続状態によって書込みエラーが発生することがあります。エラーが発生した場合は、ネットワークの接続を確認してください。

11.2 宛先を登録および編集する

My アドレス帳に、頻繁に使用する個人専用の宛先を登録します。以下の方法で登録できます。

- 複合機の**操作パネル**から登録する
- ネットワーク上のコンピューターから PageScope Web Connection を使って登録する
- PageScope My Panel Manager から登録する

My アドレス帳には、短縮宛先とグループ宛先を登録できます。ここでは、複合機の**操作パネル**からの登録方法を説明します。

11.2.1 短縮宛先

頻繁に使用する宛先のファクス番号、E-mail アドレスおよび登録されているボックスを短縮宛先に登録できます。My アドレス帳には、最大 100 件の短縮宛先を登録できます。

1 登録ユーザーでログインします。

2 **設定メニュー / カウンター**を押します。

3 ［宛先 / ボックス登録］を押します。

4 ［ファクス / スキャン宛先登録］を押します。

5 ［短縮宛先（個人）］を押します。

➔ ［短縮宛先（共有）］を押すと、共有アドレス帳の短縮宛先を登録できます。

短縮宛先（個人）の一覧が表示されます。

6 ［新規登録］を押します。

➔ 登録済みの宛先を編集する場合は、編集したい宛先を選択して［編集］を押します。
➔ 登録済みの宛先を削除する場合は、削除したい宛先を選択して［削除］を押します。
➔ 登録済みの宛先を確認する場合は、確認したい宛先を選択して［設定内容］を押します。

7　登録する宛先の種類を選択して、必要な項目を入力します。

参照
短縮宛先の登録内容について詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編]をごらんください。

11.2.2　グループ宛先

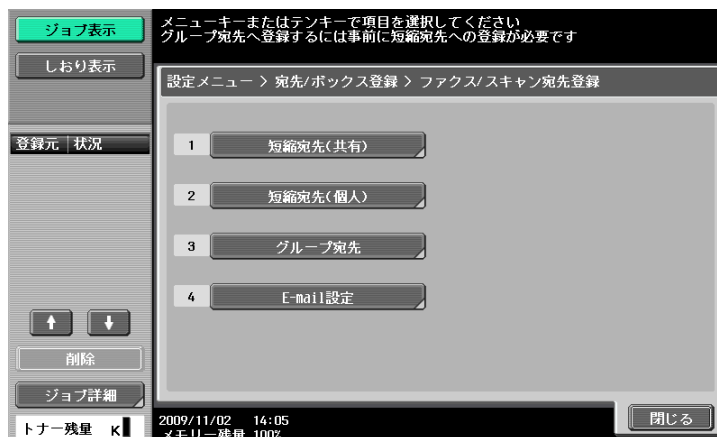
My アドレス帳の複数の短縮宛先をグループ化して、グループ宛先として登録できます。My アドレス帳には、グループ宛先を最大 10 グループ（1 グループあたり短縮宛先を最大 100 件）登録できます。

1　登録ユーザーでログインします。

2　**設定メニュー / カウンター**を押します。

3　[宛先 / ボックス登録]を押します。

4　[ファクス / スキャン宛先登録]を押します。

5　[グループ宛先]を押します。

グループ宛先の一覧が表示されます。

6　[個人]を押し、[新規登録]を押します。

➔ 登録済みのグループ宛先を編集する場合は、編集したいグループ宛先を選択して[編集]を押します。
➔ 登録済みのグループ宛先を削除する場合は、削除したいグループ宛先を選択して[削除]を押します。
➔ 登録済みのグループ宛先を確認する場合は、確認したいグループ宛先を選択して[設定内容]を押します。
➔ [共有]を押すと、共有のグループ宛先が表示されます。

7 登録先として個人グループが選択されていることを確認して、必要な項目を入力します。

➔［宛先］を選択すると、My アドレス帳に登録されている短縮宛先が表示されます。グループ化したい短縮宛先を選択してください。

参照

グループ宛先の登録内容について詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。

11.3　アドレス帳間で登録宛先をコピーする

共有アドレス帳と My アドレス帳間で、登録されている短縮宛先をコピーできます。

参考

- グループ宛先は、アドレス帳間でコピーできません。

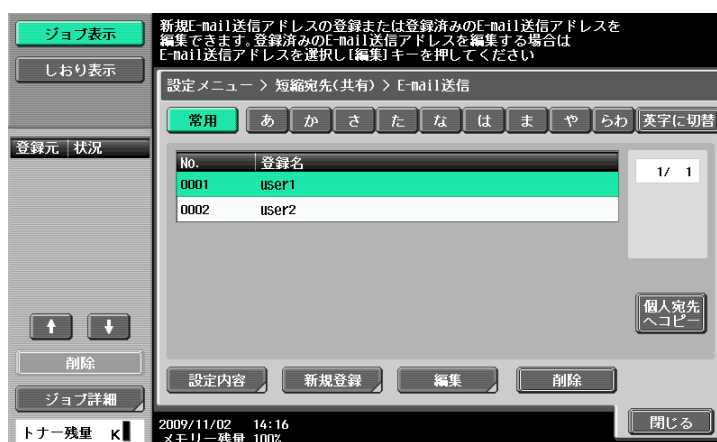
11.3.1　共有アドレス帳から My アドレス帳にコピーする

共有アドレス帳に登録されている宛先を、My アドレス帳にコピーできます。

1 ［ファクス / スキャン宛先登録］を表示します。

2 ［短縮宛先（共有)］を押します。

3 コピーしたい宛先の種類を選択します。
選択した宛先種類の登録宛先の一覧が表示されます。

4 コピーしたい宛先を選択し、［個人宛先へコピー］を押します。

5 確認画面で［はい］を選択し、［OK］を押します。
選択した宛先がコピーされます。

11.3.2 My アドレス帳から共有アドレス帳にコピーする

My アドレス帳に登録されている宛先を、共有アドレス帳にコピーできます。

1. ［ファクス / スキャン宛先登録］を表示します。
2. ［短縮宛先（個人)］を押します。
   短縮宛先（個人）の一覧が表示されます。
3. コピーしたい宛先を選択し、［共有宛先へコピー］を押します。

4. 確認画面で［はい］を選択し、［OK］を押します。
   選択した宛先がコピーされます。

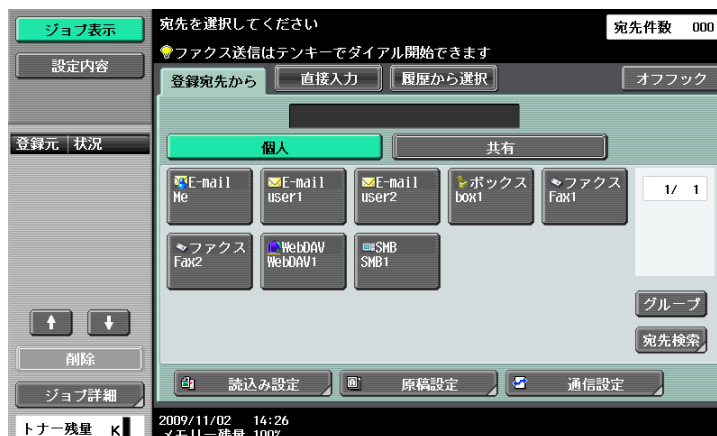
11.4　送信時に My アドレス帳を使用する

ファクス / スキャン機能で文書を送信するときや、ボックス内の文書を送信するときに、My アドレス帳から宛先を指定します。

11.4.1　宛先を指定する

My アドレス機能を使用できる場合は、宛先指定時に以下の画面が表示されます。

My アドレス帳に登録されている宛先は、宛先の種類別に表示されます。目的の宛先を選択してください。

共有アドレス帳に登録されている宛先を指定したい場合は、［共有］を押します。

11.4.2　宛先を検索する

目的の宛先が見つからない場合は、宛先を検索できます。宛先を指定する画面で、［宛先検索］を押します。

［宛先種類］は、登録されている宛先の種類で検索します。

［詳細検索］は、宛先の名称や登録内容の一部から検索します。

12 索引

12 索引

12.1 項目別索引

12.2 キー索引

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 **http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）